

令和5年度
小平市
わかりやすい予算

主要事業・予算概要説明書

※ 個別の数値や構成比などは、表示単位未満を四捨五入しているため、合計や増減額などと一致しないことがあります。

はじめに

ウィズコロナの新たな段階への移行として、社会経済活動は正常化に向けて徐々に進み始めていますが、ウクライナ情勢や円安などによるエネルギーや食料品を中心とした物価高騰の動向から、市民生活や事業活動は大きな影響を受けており、さまざまな支援が引き続き求められています。

令和5年度は、小平市第四次長期総合計画の第1期中期実行プランの3年度目となり、目標年度を見据え、施策の実現に向けて取組を加速していく重要な年です。

今後の社会情勢の変化を見通すことは難しい状況ではありますが、その変化に対して柔軟に対応し、安定的・継続的に市民の皆様の暮らしを支えるとともに、目指す将来像「つながり、共に創るまち こだいら」の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

なお、この「わかりやすい予算」は、令和5年度の主な事業をできるだけわかりやすく説明するとともに、小平市の財政事情を理解していただくために作成いたしました。

今後も市の行政運営について、よりいっそうわかりやすくお伝えできるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

小平市長 小林 洋子

目次

第1	基礎知識	2
第2	予算の編成にあたって	3
第3	財政規模	3
第4	令和5年度の主な事業の一覧	4
第5	主な事業の説明	6
1	ひとづくり － 人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち － (子育て支援、学校教育、若者活躍、健康づくり、スポーツ、 生涯の学び、歴史、文化芸術)	6
2	くらしづくり － 多様性を認めあい、つながり、共生するまち － (男女共同参画、障がい者支援、多文化共生、介護、保健福祉、 生活支援、地域コミュニティ、安全・安心)	13
3	まちづくり － 自然と調和した、美しく快適で、魅力あるまち － (緑、環境、資源循環、市街地整備、道路、交通、商工業、 都市農業、観光)	18
4	自治体経営方針	27
参考資料		31
	一般会計予算について	32
1	予算の概要	32
2	歳入予算について	33
3	歳出予算について	35
4	小平市の財政状況	39
	特別会計・下水道事業会計予算について	45
	市役所の組織と連絡先	49

第1 基礎知識

Q 予算とは何ですか？

A 予算は1年間の収入と支出を見積もることです。1年間でどのくらいの収入があるのか、どのような行政サービスを行い支出するのか、新年度が始まる前に計画し見積もります。予算からは自治体が目指す将来像がわかります。

Q 予算はどのように決まりますか？

A 市長が予算案を提出し、市議会の審議と議決によって成立します。

Q 予算書にはどのようなことが書いてありますか？

A 予算書には、市の1年間の収入が「歳入」の欄に、1年間の支出が「歳出」の欄に書いてあります。歳入と歳出の総額は常に同じ額になります。最初に決める1年間の予算を「当初予算」といいます。

Q 市債とは何ですか？

A 国や銀行からの借入れです。市債を発行し借入れをすることで、ある年度の過大な財政負担を平準化し、現在と将来の市民の負担を公平にすることができます。借入れができる事業は法律で制限されています。

Q 予算を変えることはできますか？

A できます。自然災害などの影響により急にお金を使わなければならない場合、市長がそれに対応するための予算案をつくり、市議会へ提出し議決をもらいます。この予算を「補正予算」といいます。

Q 今年度の小平市の予算は？

A 一般会計、特別会計のすべての会計をあわせた予算額、予算編成方針、主な事業については、次のページより詳しくご説明します。

第2 予算の編成にあたって

令和5年度予算は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の先行きがいまだ見通せない中、市が目指す将来像「つながり、共に創るまち こだいら」の実現に向けて、必要な施策・事業に、限られた財源を効率的に配分し、予算編成しました。

第3 財政規模

令和5年度の一般会計予算規模は、779億9,000万円で、対前年度比較で0.7%の増となりました。

また、一般会計に3つの特別会計をあわせた総予算額は、1,171億8,800万円で、前年度と比較して、1.8%の増となりました。

当初予算額

区 分	令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
一 般 会 計	779億9,000万円	774億4,400万円	5億4,600万円	0.7
国民健康保険事業特別会計	184億6,000万円	177億9,000万円	6億7,000万円	3.8
後期高齢者医療特別会計	51億 500万円	48億3,900万円	2億6,600万円	5.5
介護保険事業特別会計	156億3,300万円	150億4,300万円	5億9,000万円	3.9
合 計	1,171億8,800万円	1,151億1,600万円	20億7,200万円	1.8

区 分	令和5年度	令和4年度	対前年度比較		
			増減額	増減率(%)	
下 水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 入	42億8,630万8千円	43億 771万2千円	△2,140万4千円	△0.5
	収 益 的 支 出	38億8,447万6千円	38億6,482万7千円	1,964万9千円	0.5
	資 本 的 収 入	14億1,713万7千円	17億1,001万9千円	△2億9,288万2千円	△17.1
	資 本 的 支 出	27億7,201万1千円	26億9,437万5千円	7,763万6千円	2.9
	収 入 合 計	57億 344万5千円	60億1,773万1千円	△3億1,428万6千円	△5.2
	支 出 合 計	66億5,648万7千円	65億5,920万2千円	9,728万5千円	1.5

第4 令和5年度の主な事業の一覧

～3つの基本目標及び自治体経営方針に基づいて事業を展開します～

基本目標Ⅰ ひとづくり

人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち

	ページ
義務教育就学児医療費助成の所得制限撤廃（小学校3年生まで）	6
保育園待機児童の解消に向けた緊急対策	6
基幹保育園における給食調理業務の委託化	6
民設民営学童クラブへの支援	7
学童クラブの充実	7
子ども広場事業の充実	7
（仮称）第三期子ども・子育て支援事業計画の策定	7
学校施設の整備	8
学校体育館冷暖房設備設置	8
小学校第5学年における移動教室の実施	8
GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備	8
学校における働き方改革の推進	9
特別支援教育の充実	9
コミュニティ・スクールの拡充	9
高校生等医療費助成の開始	9
ヤングケアラーに関する普及啓発事業（子ども家庭支援センター事業）	10
こだいら健康ポイント事業（健康施策プロジェクト事業）	10
医療行為による予防接種の免疫消失に対する再接種費用助成事業	10
新型コロナウイルスワクチン接種事業	10
新型コロナウイルス感染症に係る自宅療養者の支援	11
（仮称）第2次健康増進プランの策定	11
第三期データヘルス計画・第四期特定健康診査等実施計画の策定	11
中央公園グラウンドの現況調査	11
平櫛田中彫刻美術館の記念館耐震改修クラウドファンディングの実施	12
ルネこだいらの設備改修	12
国指定史跡鈴木遺跡保存活用事業	12
海岸寺山門の修繕	12

基本目標Ⅱ 暮らしづくり

多様性を認め合い、つながり、共生するまち

	ページ
女性相談SNS試行実施	13
女性再就職サポート事業	13
相談支援・地域活動支援センター事業の充実	13
障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援	14
在宅要介護者・障がい者の受入体制の整備	14
障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定	14
保健事業及び介護予防事業の一体的実施事業	14
地域における支え合い等への支援の充実	15
地域包括ケア推進計画の策定	15
地域密着型介護サービスの整備支援事業	15
介護職員資格取得支援事業	15
参加と協働の推進	16
被災者用備蓄品等の整備	16
災害時緊急情報配信サービスの導入	16
地域防災計画の修正	16
空き家等対策計画の策定	17

基本目標Ⅲ まちづくり

自然と調和した、美しく快適で、魅力あるまち

	ページ
鷹の台公園の整備	18
鎌倉公園の整備	18
上水南町二丁目寄附物件の公園整備	18
公園設備の充実	19
用水路管理方針の策定	19
省・創・蓄エネルギー機器等設置モニター助成	19
ESCO事業を活用した公共施設の照明LED化	19
電気自動車導入の拡充	20
環境に関する普及啓発【いきいき協働事業】	20
ごみの分別の徹底と食品ロス削減の推進	20
下水道地震対策事業	20
下水道施設の老朽化対策事業	21
公共下水道雨水整備の推進	21
小川駅西口地区市街地再開発事業の推進	21
小平駅北口地区市街地再開発事業の推進	21
都市計画道路整備・道路と鉄道の立体化の推進	22
一橋学園駅周辺タクシー乗り場の整備	22
市道の無電柱化事業	22
道路整備事業の充実	22
通学路交通安全対策の充実	23
小平駅南口有料自転車駐車場の更新	23
(仮称)小平市の地域公共交通の基本方針の策定	23
新規会社設立応援金	23
(仮称)第二次観光まちづくり振興プランの策定	24
学童農園事業	24
地産地消に係る取組の支援	24
農業経営基盤の強化支援	24
ハウス栽培における温室効果ガス排出削減事業	25

自治体経営方針

自治の拡大・深化、持続可能な行財政運営、ICT社会への対応、職員の力を引き出す市役所

	ページ
議会のインターネット生中継	27
市ホームページ機能拡充	27
自治体DX推進のための基盤整備	27
マイナンバーカード交付の推進	28
ふるさと納税の拡充	28
中央エリアに係る整備事業(中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の複合化等)	28
十一小、十三小及び十四小の更新等に向けた取組	28
庁舎機能の強化	29
地方税共通納税システムにおける対象税目の拡大及び地方税統一QRコードの活用	29
保育園のICT化	29
学童クラブのICT化	29
オンライン講座等開催に向けた環境整備	30

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

第5 主な事業の説明

基本目標Ⅰ ひとづくり

一 人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち 一

「暮らし」も「まち」も「ひと」がつくっていくものであり、ひとづくりがまちにとって一番大切な観点となります。小平市は歴史ある学園都市であり、この恵まれた環境のもと、生涯学び続け、必要とする様々な力を養います。そして、地域社会を担い、将来にわたって多様に活躍できるひとづくりを目指します。

◆義務教育就学児医療費助成の所得制限撤廃（小学校3年生まで）		4,791万9千円	
主な経費	審査支払事務委託（所得制限撤廃影響分） 113万5千円	財源内訳	市のお金 4,324万円
	医療費助成（所得制限撤廃影響分） 4,678万4千円		市の借金
			国のお金
			都のお金 467万9千円
			その他

令和5年4月から、義務教育就学児医療費助成制度（マル子）において、小学1年生から3年生の所得制限を撤廃します。

担当：子育て支援課

◆保育園待機児童の解消に向けた緊急対策		10億9,335万円	
主な経費	補助金（園舎建築） 6億998万9千円	財源内訳	市のお金 6,525万1千円
	公立保育園の私立保育園移行準備		市の借金 2億2,940万円
	保育課分（施設改修・選考委員謝礼等） 460万3千円		国のお金 4億3,649万5千円
	道路課分（改修工事等） 2,734万3千円		都のお金 3億6,220万4千円
	補助金（定期利用保育増分）905万9千円		その他
	補助金（認定こども園移行に伴う園舎整備） 4億4,235万6千円		

待機児童解消に向けた緊急対策に基づき、仲町保育園及び花小金井保育園を私立保育園へ移行するため、園舎建築に係る補助を行います。津田保育園の私立保育園への移行については、建設事業所の施設の一部改修工事を行い、一部の市有地を移行園の開設地とし、令和5年度は移管先法人の選定を行います。また、市内の私立認可保育園内の保育室の使い方を工夫して実施する定期利用保育事業について、実施園を1園増設します。そのほか、令和6年度の私立幼稚園2園の認定こども園の移行に向け、令和4年度に引き続き、施設整備補助を行います。

担当：保育課、道路課

◆基幹保育園における給食調理業務の委託化		832万6千円	
主な経費	給食調理業務委託 594万円	財源内訳	市のお金 832万6千円
	設備器具費等 225万2千円		市の借金
	消耗品費 13万4千円		国のお金
			都のお金
			その他

令和3年5月に公表した「小平市における基幹保育園の基本的考え方」に基づき、令和4年度給食調理業務委託を開始した大沼保育園に引き続き、基幹園である小川西保育園において令和6年1月から給食調理業務を民間事業者へ委託します。

担当：保育課

◆民設民営学童クラブへの支援 5,637万2千円

主な経費	補助金（増分）	5,637万2千円	財源内訳	市のお金	740万円
				市の借金	
				国のお金	1,547万4千円
				都のお金	3,349万8千円
			その他		

多様化する学童クラブへのニーズに対応するため、民設民営学童クラブについて新規開設2クラブの運営費及び令和6年度開設予定の2クラブの開設準備に係る経費の補助を行います。

担当：子育て支援課

◆学童クラブの充実 4,035万4千円

主な経費	新設工事	3,990万8千円	財源内訳	市のお金	1,056万3千円
	工事・管理等委託	41万円		市の借金	
	指定管理者選定委員謝礼	3万6千円		国のお金	1,549万8千円
				都のお金	1,429万3千円
			その他		

令和7年度の開設に向けて、花小金井小学校の増築工事と併せて、学童クラブ第三の新設工事を行います。

また、延長保育を選択できる小学校を増やすため、直営で運営している七小学童クラブ第二・第三に指定管理者制度を導入します。令和5年度は指定管理者の選定を行います。

担当：子育て支援課

◆子ども広場事業の充実 1,619万9千円

主な経費	サービス業務委託（利用者支援分）	1,105万2千円	財源内訳	市のお金	78万8千円
	修繕料	477万4千円		市の借金	
	設備器具費	37万3千円		国のお金	1,073万2千円
				都のお金	467万9千円
			その他		

地域の子育て支援拠点となっている常設の子ども広場6か所（さわやか館、地域センター）に、国の利用者支援事業の補助制度を活用して、利用者支援専門員（相談専門スタッフ）を新たに配置し、相談機能の充実等を図ります。

担当：子育て支援課

◆（仮称）第三期子ども・子育て支援事業計画の策定 352万円

主な経費	調査等委託	352万円	財源内訳	市のお金	352万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
			その他		

現在の第二期子ども・子育て支援事業計画の計画期間が令和6年度で終了することから、令和7年度から5年間を対象期間とする次期計画を令和5・6年度で策定します。

令和5年度は子ども・子育てに関するニーズ調査を行います。

担当：子育て支援課

◆学校施設の整備 6億2,625万3千円

主な経費	学校トイレ修繕料	1,000万円	財源内訳	市のお金	4,734万1千円
	設計等委託	2,726万6千円		市の借金	4億4,640万円
	工事・監理等委託	331万5千円		国のお金	4,648万4千円
	改良・改修工事	5億8,567万2千円		都のお金	8,602万8千円
				その他	

児童数の増加に対応するため、花小金井小では増築棟の設計、工事等を行います。四小、学園東小、四中では、既存校舎の老朽化等に対応するため、防水や外壁改修の設計、工事等を行います。花小金井南中では、生徒数の増加等に合わせ、特別教室の普通教室化等を行います。
また、小学校4校、中学校4校のトイレの洋式化を実施します。

担当：教育総務課

◆学校体育館冷暖房設備設置 9億8,798万円

主な経費	工事・監理等委託	4,576万1千円	財源内訳	市のお金	16万円
	設備工事	9億4,221万9千円		市の借金	6億8,520万円
				国のお金	
				都のお金	
				その他	3億262万円

小学校19校と中学校8校の体育館への冷暖房設備の設置に向け、令和4年度に引き続き中学校体育館への冷暖房設備の設置工事を進めるとともに、小学校体育館への冷暖房設備の設置工事に着手します。

担当：教育総務課

◆小学校第5学年における移動教室の実施 1,292万9千円

主な経費	サービス業務委託	1,017万6千円	財源内訳	市のお金	1,292万9千円
	就学援助	198万8千円		市の借金	
	施設入場料等	76万5千円		国のお金	
				都のお金	
				その他	

現在実施している、小学校第6学年における移動教室に加えて、小学校第5学年においても1泊2日の移動教室を実施します。

担当：学務課、指導課

◆GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備 2,204万1千円

主な経費	無線アクセスポイント等設置費	1,500万円	財源内訳	市のお金	2,009万8千円
	端末修繕料	445万円		市の借金	
	デジタル利活用支援員 (報酬・期末手当・社会保険料・費用弁償)	259万1千円		国のお金	
				都のお金	194万3千円
				その他	

児童・生徒数の増加に伴う普通教室等の増室に対応するため、無線アクセスポイント等の増設・移設を行うとともに、学習者用端末の故障対応の充実を図ります。また、デジタルの専門性に基づく授業支援や各種マニュアル作成を担う支援員を配置します。

担当：学務課、指導課

◆学校における働き方改革の推進 2,754万1千円

主な経費	エデュケーション・アシスタント (報酬・期末手当・社会保険料・雇用保険料)	1,800万円	財源内訳	市のお金	795万8千円
	特別非常勤講師 (報酬・期末手当・社会保険料)	158万3千円		市の借金	
	校務支援システムの機能拡張	795万8千円		国のお金	
				都のお金	1,958万3千円
				その他	

東京都の補助金を活用し、学校における働き方改革の推進として、エデュケーション・アシスタントを新たに配置するとともに、外国語活動などの教科の特別非常勤講師の授業数を拡充します。また、既存の校務支援システムの機能を拡張します。

担当：学務課、指導課

◆特別支援教育の充実 3,393万4千円

主な経費	小学校開設準備委員会委員謝礼	6万円	財源内訳	市のお金	443万1千円
	小学校改良・改修工事	2,980万6千円		市の借金	1,340万円
	小学校開設準備経費 (消耗品費・電算機器借上料・備品購入費)	400万8千円		国のお金	1,490万3千円
	中学校開設準備委員会委員謝礼	6万円		都のお金	120万円
				その他	

小学校における自閉症・情緒障がい特別支援学級の開設に向け、四小において教室の改修工事等を行うとともに、中学校の設置に向けて、開設準備委員会を立ち上げて検討を進めます。

担当：教育総務課、学務課、指導課

◆コミュニティ・スクールの拡充 287万円

主な経費	学校経営協議会委員報酬	93万6千円	財源内訳	市のお金	287万円
	講師謝礼等	84万2千円		市の借金	
	消耗品費	100万8千円		国のお金	
	通信運搬費	8万4千円		都のお金	
				その他	

学校経営協議会を設置し、保護者・地域住民が一定の権限と責任を伴いながら、学校経営に意見を反映させ、地域に開かれた学校づくりを推進する事業です。令和5年度は、小学校2校、中学校2校に導入するとともに、小学校1校、中学校2校で新たに令和6年度の導入に向けた取組を行います。

担当：指導課

◆高校生等医療費助成の開始 1億1,023万1千円

主な経費	審査支払事務委託	264万5千円	財源内訳	市のお金	
	医療費助成	9,790万9千円		市の借金	
	事務処理等経費	957万9千円		国のお金	
	消耗品費等	9万8千円		都のお金	1億1,023万1千円
				その他	

令和5年4月から、高校生等を養育する方に対し、高校生等にかかる医療費の一部を助成する制度（マル青）を開始します。

担当：子育て支援課

◆ヤングケアラーに関する普及啓発事業（子ども家庭支援センター事業）		60万円		
主な経費	サービス業務委託	60万円	財源内訳	
				市のお金
				市の借金
				国のお金
			都のお金	
			その他	
<p>国における令和4年度から6年度までのヤングケアラー認知度向上の「集中取組期間」を踏まえ、福祉・介護・医療・教育等の関係機関の職員に対する研修及び啓発動画の作成を行います。</p>				
担当：子育て支援課				

◆こだいら健康ポイント事業（健康施策プロジェクト事業）		831万6千円		
主な経費	機器等保守整備委託	財源内訳	市のお金	
	（システム等関係機器導入費用）		543万3千円	
	344万7千円		市の借金	
	郵送料		185万5千円	国のお金
	185万5千円		都のお金	
	49万9千円		288万3千円	
会計年度任用職員報酬・謝礼	49万9千円	その他		
還元品・消耗品費	100万4千円			
パンフレット作成等	151万1千円			
<p>引き続き、スマートフォンアプリ等を使用して、健康づくりの取組に対してポイントを付与します。また、健康施策プロジェクト事業として、若い世代への健康ポイント事業の周知や健康づくりに関する啓発を行います。</p>				
担当：健康推進課				

◆医療行為による予防接種の免疫消失に対する再接種費用助成事業		30万3千円	
主な経費	補助金（直接交付）	財源内訳	市のお金
	30万3千円		15万2千円
			市の借金
			国のお金
		都のお金	
		15万1千円	
		その他	
<p>骨髄移植等の医療行為により、予防接種法に基づく定期予防接種の免疫が消失した方への再接種に係る費用を助成します。</p>			
担当：健康推進課			

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業		7億1,920千4千円	
主な経費	新型コロナウイルスワクチン接種経費	財源内訳	市のお金
	（事務処理等委託、予防接種等委託等）		市の借金
	7億1,920万4千円		7億1,909万1千円
			都のお金
		その他	
		11万3千円	
<p>引き続き、新型コロナウイルスワクチン接種体制を確保します。</p>			
担当：健康推進課			

◆新型コロナウイルス感染症に係る自宅療養者の支援 1,530万4千円

主な経費	サービス業務委託	1,513万6千円	財源内訳	市のお金	1,530万4千円
	消耗品費	1万2千円		市の借金	
	郵送料	15万6千円		国のお金	
				都のお金	
				その他	

東京都の自宅療養者フォローアップセンターから食料品等が送付されるまでの間の緊急支援として、自宅療養を余儀なくされる方に対する、食料品等の支援及びパルスオキシメーターの貸与を実施します。

担当：健康推進課

◆（仮称）第2次健康増進プランの策定 385万1千円

主な経費	計画策定等委託	295万9千円	財源内訳	市のお金	339万円5千円
	委員謝礼	84万5千円		市の借金	
	郵送料、消耗品	4万7千円		国のお金	
				都のお金	45万6千円
				その他	

現在の健康増進プランの計画期間が令和5年度で終了することから、令和6年度から6年間を対象期間とする次期計画を策定します。

担当：健康推進課

◆第三期データヘルス計画・第四期特定健康診査等実施計画の策定 102万円

主な経費	計画策定等委託	55万円	財源内訳	市のお金	102万円
	（国民健康保険事業特別会計）			市の借金	
	印刷製本費	47万円		国のお金	
（国民健康保険事業特別会計）	都のお金				
				その他	

現在の第二期データヘルス計画及び第三期特定健康診査等実施計画が令和5年度で終了するため、令和6年度からの6年間を対象期間とする次期計画を策定します。

担当：保険年金課

◆中央公園グラウンドの現況調査 407万円

主な経費	現況調査委託	407万円	財源内訳	市のお金	407万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	

中央公園グラウンドは、水はけの問題などの改善が必要であるため、今後の整備に向けた現況調査を行います。

担当：文化スポーツ課

◆平櫛田中彫刻美術館の記念館耐震改修<クラウドファンディングの実施>		1,530万2千円		
主な経費	耐震補強設計	1,506万1千円	財源内訳	
	郵送料（広報チラシ・返礼品）	10万円		
	広報チラシ作成委託	14万1千円		
			市のお金	118万2千円
			市の借金	810万円
			国のお金	502万円
			都のお金	
			その他	100万円

平櫛田中の旧宅である記念館について、クラウドファンディングを実施して、耐震補強工事を実施します。令和5年度は、耐震補強設計を実施します。

担当：文化スポーツ課

◆ルネこだいらの設備改修		1,343万1千円		
主な経費	整備等委託	1,343万1千円	財源内訳	
			市のお金	1,343万1千円
			市の借金	
			国のお金	
			都のお金	
			その他	

停電時に作動する非常用発電機について、定期点検時に動作不良に伴う故障が発見されたため、正常な稼働及び性能維持に向けて、オーバーホールを実施します。

担当：文化スポーツ課

◆国指定史跡鈴木遺跡保存活用事業		1,909万2千円		
主な経費	発掘調査指導委員謝礼	10万8千円	財源内訳	
	史跡整備に向けた発掘調査	442万円		
	史跡整備に向けた予備設計（現況調査）	1,456万4千円		
			市のお金	477万3千円
			市の借金	
			国のお金	954万6千円
			都のお金	477万3千円
			その他	

鈴木遺跡保存管理等用地である旧農林中央金庫研修所跡地の整備に向けて、発掘調査や予備設計（現況調査）を実施します。

担当：文化スポーツ課

◆海岸寺山門の修繕		2,063万円		
主な経費	海岸寺山門修繕工事への補助	2,063万円	財源内訳	
			市のお金	2,063万円
			市の借金	
			国のお金	
			都のお金	
			その他	

市の指定文化財である海岸寺山門について、劣化している茅葺屋根と構造材の修繕工事の実施に対して補助を行います。

担当：文化スポーツ課

基本目標Ⅱ くらしづくり

－ 多様性を認め合い、つながり、共生するまち －

「くらし」は、地域社会を担う「ひと」を支える基本となるものです。地域では、多様な人々の暮らしが営まれています。多様な人々が集まる中で、様々な意見や価値観の違いを理解しながら、新しいものを生み出していく力に変えていきます。支えあいのネットワークから誰一人として排除されることのない社会、地域全体で多様性を包み込み、地域で共に生きるあたたかいくらしづくりを目指します。

◆女性相談SNS試行実施		164万1千円			
主な経費	相談等委託	164万1千円	財源内訳		
				市のお金	82万1千円
				市の借金	
				国のお金	
			都のお金	82万円	
			その他		
<p>SNSを使用した女性相談を試行的に、4か月間、週1回の頻度で実施します。</p> <p style="text-align: right;">担当：市民協働・男女参画推進課</p>					

◆女性再就職サポート事業		610万円			
主な経費	サービス業務委託	610万円	財源内訳		
				市のお金	305万円
				市の借金	
				国のお金	
			都のお金	305万円	
			その他		
<p>地域での再就職を希望する市内在住の女性に対して、就職支援セミナーや市内等事業者とのマッチング等を実施し、女性の再就職と事業者の労働力確保を支援します。</p> <p style="text-align: right;">担当：産業振興課</p>					

◆相談支援・地域活動支援センター事業の充実		374万3千円			
主な経費	サービス業務委託（増分）	374万3千円	財源内訳		
				市のお金	93万7千円
				市の借金	
				国のお金	187万1千円
			都のお金	93万5千円	
			その他		
<p>利用者の増加に対応するため、「地域活動支援センター はばたき」に、支援員の職員1人を配置し、安定的に業務を継続できる体制を整え、障がい者の自立に向けた支援の充実を図ります。</p> <p style="text-align: right;">担当：障がい者支援課</p>					

◆障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援		6,638万5千円	
主な経費	障がい者関係扶助費（増分）	財源内訳	市のお金
	6,638万5千円		市の借金
			国のお金
			都のお金
			その他

定員10人の介護サービス包括型グループホーム1か所の増設により、入所者の共同生活援助費等を拡充します。

担当：障がい者支援課

◆在宅要介護者・障がい者の受入体制の整備		1,017万5千円	
主な経費	消耗品費	財源内訳	市のお金
	サービス業務委託		市の借金
	補助金		国のお金
			都のお金
			その他

在宅で高齢者・障がい者を介護している家族等が新型コロナウイルス感染症に感染した場合においても、介護者である家族等が安心して療養し、介護が必要な高齢者や障がい者の生活が維持できるよう支援を実施します。

担当：高齢者支援課、障がい者支援課

◆障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定		442万5千円	
主な経費	計画策定等委託	財源内訳	市のお金
	検討委員会委員謝礼		市の借金
			国のお金
			都のお金
			その他

現在の第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画が令和5年度で終了することから、令和6年度から3年間を対象期間とする次期計画を、令和4年度実施のアンケート調査等を踏まえて策定します。

担当：障がい者支援課

◆保健事業及び介護予防事業の一体的実施事業		263万7千円	
主な経費	サービス業務委託	財源内訳	市のお金
	消耗品費		市の借金
	郵送料		国のお金
			都のお金
			その他

高齢者に対しフレイルなどの心身の課題に対応した支援を行うことを通じて、高齢者の健康の保持・増進及び医療費適正化を図るため、高齢者の生活習慣病予防等の保健事業と、介護予防事業を一体的に実施し、高齢者の健康の保持・増進や健康寿命の延伸を図ります。

担当：高齢者支援課

◆地域における支え合い等への支援の充実 **90万6千円**

主な経費	サービス業務委託	90万6千円	財源内訳	市のお金	1千円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	90万5千円
			その他		

自治会と連携して、高齢者等の住居に通信機能付きLED電球を設置し、点灯の状況を親族等にメールで知らせることにより、高齢者等の異変や状態の変化を把握するモデル事業を令和5年度は対象者を拡大して実施します。

担当：高齢者支援課

◆地域包括ケア推進計画の策定 **340万円**

主な経費	計画策定等委託（介護保険事業特別会計）	340万円	財源内訳	市のお金	340万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
			その他		

現在の第8期地域包括ケア推進計画の計画期間が令和5年度で終了することから、令和6年度から3年間を計画期間とする次期計画を、令和4年度に行った実態調査等を踏まえて策定します。

担当：高齢者支援課

◆地域密着型介護サービスの整備支援事業 **1億2,370万2千円**

主な経費	補助金	1億2,370万2千円	財源内訳	市のお金	
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	1億2,370万2千円
			その他		

令和5年度に開設予定の認知症高齢者グループホームについて、整備費等の補助を行い、介護サービスの基盤整備を図ります。

担当：高齢者支援課

◆介護職員資格取得支援事業 **70万円**

主な経費	補助金	70万円	財源内訳	市のお金	17万5千円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	52万5千円
			その他		

市内の介護事業所に従事する介護人材の確保及び定着を図り、質の高い介護サービスが提供できるよう、介護職員の資格取得に係る費用の補助を行います。

担当：高齢者支援課

◆参加と協働の推進

236万2千円

主な経費	いきいき協働事業 (講師謝礼、イベント業務委託) 134万円	財源内訳	市のお金	147万1千円
	提示型公募事業 (委員報酬、補助金) 47万2千円		市の借金	
	こだいら人財の森事業 (サービス業務委託) 55万円		国のお金	
			都のお金	55万円
			その他	34万1千円

市が提示した課題・事業を行政提案型のいきいき協働事業及び提示型公募事業として、市民活動団体と協働で実施します。また、市民活動人材バンク「こだいら人財の森」の周知のため、講演会等を行います。

担当：市民協働・男女参画推進課、環境政策課、水と緑と公園課

◆被災者用備蓄品等の整備

2,249万3千円

主な経費	備蓄品購入 2,056万円	財源内訳	市のお金	1,229万3千円
	避難所開設用備品購入 193万3千円		市の借金	
			国のお金	
			都のお金	1,020万円
			その他	

災害時の応急対策として、避難者等に配布する食料、避難所運営に必要な資機材類の備蓄を、平成26年度から令和5年度までの10年間かけて整備します。また、発災後、速やかに避難所開設・運営できるよう、各地区の避難所開設に必要な備品を事前に配備します。

担当：防災危機管理課

◆災害時緊急情報配信サービスの導入

8万5千円

主な経費	サービス使用料 8万5千円	財源内訳	市のお金	8万5千円
			市の借金	
			国のお金	
			都のお金	
			その他	

携帯電話やスマートフォンを持たない高齢者などの情報弱者を取り残さないことを目的に、あらかじめ登録した電話番号やFAX番号に対し、市が入力した災害時の緊急情報等を自動で一斉配信するサービスを導入します。

担当：防災危機管理課

◆地域防災計画の修正

569万6千円

主な経費	地域懇談会対応(報酬・謝礼) 3万3千円	財源内訳	市のお金	569万6千円
	計画策定等委託 566万3千円		市の借金	
			国のお金	
			都のお金	
			その他	

令和4年5月に新たな東京都の被害想定が公表され、それに伴い令和5年度修正予定の東京都地域防災計画(震災編)を踏まえて、小平市地域防災計画を修正します。

担当：防災危機管理課

◆空き家等対策計画の策定

296万2千円

主な経費			財源内訳		
	委員謝礼	38万8千円		市のお金	148万1千円
計画策定等委託	257万4千円	市の借金			
		国のお金			
		都のお金	148万1千円		
		その他			

令和4年度実施の実態調査に基づき、（仮称）第二次小平市空き家等対策計画を策定します。

担当：地域安全課

基本目標Ⅲ まちづくり

－ 自然と調和した、美しく快適で、魅力あるまち －

「まち」は、「ひと」や「くらし」の基盤となります。小平市にある水や緑の美しい憩いの空間が適切に保全された快適性と、駅周辺を中心とした利便性が調和し、暮らしやすく、将来にわたって魅力と活力に満ちたまちづくりを目指します。

◆鷹の台公園の整備		623万4千円			
主な経費	整備基本計画策定	588万4千円	財源内訳	市のお金	623万4千円
	予定地活用プロジェクト【いきいき協働事業（再掲）】	35万円		市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	

鷹の台公園の整備に向けて、令和4年度に実施した鷹の台公園のあり方調査・検討の結果等を踏まえ、基本計画を策定します。
また、鷹の台公園予定地を活用したイベント（プレーパーク）を協働で開催し、鷹の台公園整備事業の周知・啓発及び地域の機運醸成を図ります。

担当：水と緑と公園課

◆鎌倉公園の整備		3億6,127万8千円			
主な経費	鎌倉公園整備（公園用地購入費、補償算定、基本設計等）	3億6,127万8千円	財源内訳	市のお金	4,581万円
				市の借金	9,790万円
				国のお金	1億878万4千円
				都のお金	1億878万4千円
				その他	

令和3年8月に事業認可を取得した、鎌倉公園の整備を進めるため、用地の取得や基本設計等を実施します。

担当：水と緑と公園課

◆上水南町二丁目寄附物件の公園整備		6,851万円			
主な経費	公園等整備工事	6,761万9千円	財源内訳	市のお金	3,487万3千円
	分筆測量	89万1千円		市の借金	
				国のお金	
				都のお金	2,000万円
				その他	1,363万7千円

クラウドファンディングにより募集した寄附金等を活用して、令和4年度に実施した設計に基づき、令和5年度は整備工事を行います。

担当：水と緑と公園課、公共施設マネジメント課

◆公園設備の充実		1,897万7千円			
主な経費	公園・庭園灯のLED化	733万9千円	財源内訳	市のお金	1,897万7千円
	旧ごみ集積所の公園敷地編入	400万円		市の借金	
	小規模公園バリアフリー改修	107万8千円		国のお金	
	四季の小路公園整備	125万6千円		都のお金	
	複合遊具の更新	530万4千円		その他	
<p>公園・庭園灯のLEDへの更新及び旧ごみ集積所の公園敷地への編入を加速化するほか、小規模公園のバリアフリー改修、四季の小路公園整備、木製複合遊具の更新などを進めます。</p> <p style="text-align: right;">担当：水と緑と公園課</p>					

◆用水路管理方針の策定		165万円			
主な経費	策定補助業務委託	165万円	財源内訳	市のお金	165万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	
<p>平成7年に策定した小平市用水路活用計画を現在の状況に対応して見直し、用水路の維持管理を適切に行っていくための管理方針を、令和4年度に実施したアンケート調査等を踏まえて策定します。</p> <p style="text-align: right;">担当：水と緑と公園課</p>					

◆省・創・蓄エネルギー機器等設置モニター助成		1,500万円			
主な経費	補助金（直接交付）	1,500万円	財源内訳	市のお金	1,450万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	50万円
<p>業務部門・家庭部門でのエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、市民・事業者に対して、太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、断熱窓の設置費用の一部を補助します。</p> <p>新たに、照明のLED化、V2H（Vehicle to Home）の設置、太陽光発電設備の交換を助成対象に追加するほか、2種類までの同時申請を可能とし、脱炭素化の取組を促進します。</p> <p style="text-align: right;">担当：環境政策課</p>					

◆ESCO事業を活用した公共施設の照明LED化		0円			
主な経費	整備等委託	0円	財源内訳	市のお金	0円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	
<p>照明のLED化による電気料金の削減分で経費を賄い、省エネ効果も実証できるESCO事業を活用し、地域センター11館、公民館5館、図書館7館及び東部市民センターの照明をLED化します。</p> <p>令和5年度は工事を行い、令和6年度から供用開始します。</p> <p>なお、令和5年度は債務負担行為の設定のみであるため、事業費は計上していません。</p> <p style="text-align: right;">担当：市民協働・男女参画推進課、公民館、図書館</p>					

◆電気自動車導入の拡充		997万7千円			
主な経費	普通充電設備設置	28万4千円	財源内訳	市のお金	69万9千円
	電気自動車購入	969万3千円		市の借金	
			国のお金		
			都のお金	732万9千円	
			その他	194万9千円	

電気自動車の導入を拡充し、二酸化炭素排出量の削減に取り組むことで、環境負荷の軽減を図ります。

担当：総務課、産業振興課、文化スポーツ課、道路課、学務課

◆環境に関する普及啓発【いきいき協働事業（再掲）】		64万6千円			
主な経費	イベント業務委託	61万円	財源内訳	市のお金	30万5千円
	講師謝礼	3万6千円		市の借金	
			国のお金		
			都のお金		
			その他	34万1千円	

市民の自発的な環境配慮行動の取組やその情報発信を促進するため、市民と協働で啓発動画を作成し、SNSやイベント等で情報発信するとともに、動画の作成・発信に関するワークショップを開催します。

担当：環境政策課

◆ごみの分別の徹底と食品ロス削減の推進		52万5千円			
主な経費	ごみ分別アプリのLINE連携機能の導入 （機器等保守整備委託）	24万2千円	財源内訳	市のお金	38万4千円
	（仮称）こだいら食べきり協力店制度の開始 （啓発物等作成委託）	28万3千円		市の借金	
			国のお金		
			都のお金		
			その他	14万1千円	

市公式のLINEとごみ分別アプリを連携し、市民の分別方法の確認に係る利便性の向上を図り、適正な排出を促します。
また、食べ残し削減に取り組む市内飲食店を協力店として認定し、広報等を行うことで、事業者や市民の食品ロス削減に係る意識啓発を図ります。

担当：資源循環課

◆下水道地震対策事業		3億1,793万6千円			
主な経費	管きよ耐震化工事	3億1,793万6千円	財源内訳	市のお金	4万8千円
				市の借金	2億6,040万円
			国のお金	5,472万円	
			都のお金	273万6千円	
			その他	3万2千円	

令和2年度の耐震診断調査により耐震性能不足であることが確認された管路で、防災拠点である陸上自衛隊小平駐屯地及び避難所である津田公民館からの排水を受ける管きよの耐震化工事を令和4年度に引き続き実施します。

担当：下水道課

◆下水道施設の老朽化対策事業

6億6,492万1千円

主な経費	改築・修繕工事	4億6,643万7千円	財源内訳	市のお金	1億8,155万4千円
	管路内調査委託	1億5,668万4千円		市の借金	1億7,810万円
	緊急修繕工事	4,180万円		国のお金	2,500万円
				都のお金	347万5千円
			その他	2億7,679万2千円	

小平市下水道ストックマネジメント実施方針に基づいて、計画的に下水道施設の改築・修繕工事や管路内調査を実施します。令和5年度は、学園、喜平処理分区等の改築工事等及び仲町処理分区の下水道施設の管路内調査等を実施します。

担当：下水道課

◆公共下水道雨水整備の推進

1億6,656万1千円

主な経費	管きょ築造工事	6,778万5千円	財源内訳	市のお金	1,296万6千円
	管きょ実施設計	1,124万1千円		市の借金	1億3,970万円
	雨水流出抑制施設工事	8,253万5千円		国のお金	424万円
	雨天時浸入水対策	500万円		都のお金	615万5千円
			その他	350万円	

分流式下水道区域において、浸水シミュレーションの結果を踏まえ、浸水リスクを有する地区を中心に実施している雨水管きょ整備として、令和5年度は、大沼町地区の雨水管きょ築造工事、花小金井地区の実施設計を行います。また、美大通り等への雨水流出抑制施設工事を行うほか、花小金井地区の雨天時浸入水対策として管路内カメラ調査を実施します。

担当：下水道課

◆小川駅西口地区市街地再開発事業の推進

21億4,470万9千円

主な経費	補助金（組合事業費補助）	2億6,895万6千円	財源内訳	市のお金	4億6,382万3千円
	公共施設管理者負担金	13億1,105万5千円		市の借金	11億3,150万円
	ペDESTリアンデッキの実施設計	4,800万円		国のお金	4億532万7千円
	組合貸付金	5億円		都のお金	1億4,215万6千円
	地下自転車駐車場の実施設計	1,669万8千円		その他	190万3千円

再開発組合が実施する既存建物の解体工事、再開発ビルや駅前広場等の整備、補償等に係る費用に対して公共施設管理者負担金及び補助金を交付するほか、資金の貸付による支援を行い、事業を推進します。また、市で整備を予定しているペDESTリアンデッキや地下自転車駐車場について実施設計を行います。

担当：地域整備支援課、交通対策課、下水道課

◆小平駅北口地区市街地再開発事業の推進

1,812万1千円

主な経費	都市計画資料作成	1,529万円	財源内訳	市のお金	1,812万1千円
	補助金（準備組合活動費補助）	40万円		市の借金	
	地下自転車駐車場都市計画図書作成等	243万1千円		国のお金	
				都のお金	
			その他		

再開発準備組合への活動費補助を行うとともに、都市計画決定に向けた都市計画資料作成等を行います。

担当：地域整備支援課、交通対策課

◆都市計画道路整備・道路と鉄道の立体化の推進 5億6,539万8千円

主な経費	3・4・19号線整備事業 (道路用地購入、損失補償等) 2億1,258万8千円	財源内訳	市のお金	9,672万円
	3・4・10号線整備事業 (道路用地購入、損失補償等) 1億8,903万2千円		市の借金	1億2,290万円
	第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業 (道路用地購入、損失補償等) 1億6,127万8千円		国のお金	1億2,300万円
	道路と鉄道の立体化に向けた調査・研究 250万円		都のお金	2億2,277万8千円
			その他	

小平都市計画道路3・4・19号線及び3・4・10号線並びに第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業を活用した小平都市計画道路3・3・3号線の整備に向けた、用地購入や損失補償等を行います。また、西武新宿線花小金井駅付近の道路と鉄道の立体化について調査・研究を行います。

担当：道路課

◆一橋学園駅周辺タクシー乗り場の整備 965万7千円

主な経費	設計等委託	965万7千円	財源内訳	市のお金	965万7千円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
			その他		

一橋学園駅周辺の安全性や利便性の向上を図るため、警察学校北通りへのタクシー乗り場の整備に向けて、設計を行います。

担当：道路課

◆市道の無電柱化事業 1,598万円

主な経費	補償金	1,598万円	財源内訳	市のお金	1,598万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
			その他		

たかの台本通りの無電柱化を実施する事業で、令和5年度は占用企業者（水道）の支障移設に伴う補償を行います。

担当：道路課

◆道路整備事業の充実 3億8,308万2千円

主な経費	道路維持補修	2億7,763万3千円	財源内訳	市のお金	1,058万8千円
	道路新設改良	8,420万9千円		市の借金	2億9,030万円
	私道補助	2,124万円		国のお金	
				都のお金	8,007万円
			その他	212万4千円	

道路維持事業として市道等10件・12路線の補修工事（□～◎）、道路新設改良事業として市道2件・3路線の整備工事（①～②）を行うほか、引き続き私道整備の補助を行います。

※道路整備予定箇所については、26ページに掲載しています。

担当：道路課

◆通学路交通安全対策の充実 **353万円**

主な経費	通学路交通安全施設、路面標示修繕	財源内訳	市のお金	353万円
	353万円		市の借金	
			国のお金	
			都のお金	
			その他	

市立小学校の通学路に指定されている道路上に、児童の安全を確保するため、カラー舗装などの安全対策を行います。

担当：交通対策課

◆小平駅南口有料自転車駐車場の更新 **1,996万2千円**

主な経費	基本設計業務委託	6,239千円	財源内訳	市のお金	1,996万2千円
	用地測量業務委託	6,922千円		市の借金	
	交通量調査委託	6,801千円		国のお金	
				都のお金	
				その他	

目標耐用年数が令和2年に到来している小平駅南口有料自転車駐車場の更新に向けて、令和5年度は、基本設計、測量及び交通量調査を行います。

担当：交通対策課

◆（仮称）小平市の地域公共交通の基本方針の策定 **50万7千円**

主な経費	委員謝礼（増分）	13万3千円	財源内訳	市のお金	50万7千円
	基本方針パンフレット作成業務委託	37万4千円		市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	

平成18年策定の「市の公共交通に対する基本的な考え方」を見直し、地域公共交通の目指すべき姿の実現に向けた基本的な考え方や取組の方向性を定める新たな基本方針を、令和4年度に実施したアンケート調査等を踏まえて策定します。

担当：公共交通課

◆新規会社設立応援金 **100万円**

主な経費	補助金	100万円	財源内訳	市のお金	100万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	

小平市で特定創業支援等事業による支援を受け、証明書を取得された方を対象に、市内で新規に会社の設立を行う事業者に応援金を支給します。

担当：産業振興課

◆（仮称）第二次観光まちづくり振興プランの策定		551万6千円			
主な経費	委員謝礼	67万6千円	財源内訳	市のお金	551万6千円
	計画策定等委託	484万円		市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	

現在の「小平市観光まちづくり振興プラン」が令和5年度をもって終了するため、令和6年度から4年間を計画期間とする新たな計画を策定します。

担当：産業振興課

◆学童農園事業		95万円			
主な経費	使用料（増分）	95万円	財源内訳	市のお金	95万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	

市内小学校の児童が農業体験学習する農地への利用料を増額します。

担当：産業振興課

◆地産地消に係る取組の支援		465万円			
主な経費	補助金（増分）	465万円	財源内訳	市のお金	465万円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	
				その他	

学校給食における地場産農産物の購入支援とJA東京むさしと連携した、地場産農産物の運搬費用等に対して支援を拡充します。

担当：産業振興課

◆農業経営基盤の強化支援		781万円			
主な経費	補助金	781万円	財源内訳	市のお金	243万3千円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	537万7千円
				その他	

市内認定農業者に対し、農業経営力の強化、地域農業活性化等に資する施設・機械類の整備を支援し、都市農業の「稼ぐ力」の強化を図ります。

また、市内の認定新規就農者に対し、就農に必要な施設の整備費や機械設備の導入費を補助し、早期に安定した経営が開始できるよう支援します。

担当：産業振興課

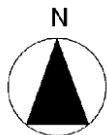
◆ハウス栽培における温室効果ガス排出削減事業 2,518万4千円

主な経費	補助金	2,518万4千円	財源内訳	市のお金	132万3千円
				市の借金	
				国のお金	
				都のお金	2,386万1千円
			その他		

市内認定農業者の燃油暖房設備が設置されたパイプハウス等へヒートポンプを導入する取組を支援することにより、温室効果ガスの排出を削減します。

担当：産業振興課

令和5年度 道路整備予定箇所図



凡 例	
○	道路新設改良事業
□	道路維持事業

自治体経営方針

今後の自治体経営では公共サービスの提供における行政の位置づけや市民等と行政との役割分担を踏まえ、継続的に自治を発展させていくことを軸としていきます。その上で、脅威となる地震、風水害、感染症などに対するリスク管理にも配慮しながら、成熟社会において持続可能な自治体を築いていきます。そのためには、厳しい財政状況を見据え、事務事業の厳選や聖域なき見直しにより、一層の効率化を図り、健全な財政運営を確保します。また、今後の自治体経営に大きな影響を与えるものと考えられる課題として、ICT技術の進展と実用化及び多様な生活様式に即した働き方の変革に焦点を当て、先を見通した対応をしていきます。

◆議会のインターネット生中継		92万4千円		
主な経費	電算関係業務委託	92万4千円	財源内訳	
			市のお金	92万4千円
			市の借金	
			国のお金	
			都のお金	
			その他	

市議会本会議を字幕付きでインターネット生中継します。

担当：議会事務局

◆市ホームページ機能拡充		1,060万3千円		
主な経費	ホームページ運用・保守業務委託		財源内訳	
		509万8千円		
	ホームページ機能拡充	492万6千円		
	やさしい日本語自動変換	39万6千円		
	外国語自動翻訳配信	18万3千円		
			市のお金	1,060万3千円
			市の借金	
			国のお金	
			都のお金	
			その他	

令和5年6月末で更新の時期を迎える市ホームページについて、現機能の多くを5年間継続させつつ、一部機能の充実を図ります。

担当：秘書広報課

◆自治体DX推進のための基盤整備		4,219万円		
主な経費	行政手続のオンライン化 (ソフトウェア使用料等)	423万3千円	財源内訳	
	公共施設におけるWi-Fi環境試行整備 (通信運搬費等)	83万円		
	ガバメントクラウド導入支援 (計画算定等委託)	3,630万2千円		
	DX推進のための人材育成研修の実施	82万5千円		
			市のお金	165万5千円
			市の借金	
			国のお金	
			都のお金	
			その他	4,053万5千円

住民記録、税、介護等主要20業務システムの標準化に向けた準備、LoGoフォーム及びLINEを媒体とする各種サービスの導入による行政手続のオンライン化、モバイルWi-Fiルーターの公共施設への試行配備等を行います。また、DX推進のために職員に求められるスキルの取得に関する庁内研修を実施します。

担当：情報政策課、市民課、市民協働・男女参画推進課、公民館、図書館

◆マイナンバーカード交付の推進 1億1,649万9千円

主な経費	マイナンバー交付の推進 (サービス業務委託等) 1億1,649万9千円	財源内訳	市のお金
			市の借金
			国のお金 1億1,649万9千円
			都のお金
			その他

マイナンバーカードの交付窓口やコールセンター、申請サポート業務を継続して実施し、マイナンバーカードの交付を推進します。

担当：市民課

◆ふるさと納税の拡充 500万円

主な経費	決済手数料 30万円	財源内訳	市のお金
	サービス業務委託 370万円		市の借金
	ポータルサイト使用料 100万円		国のお金
			都のお金
			その他 500万円

広く市内から返礼品事業者を募ることで、返礼品を拡充し、自主財源の確保に努めるとともに、意欲ある市内事業者の販路としての環境を整えます。

担当：財政課

◆中央エリアに係る整備事業（中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の複合化等） 1,467万3千円

主な経費	謝礼 3万6千円	財源内訳	市のお金 1,467万3千円
	損失補償算定業務委託 182万円		市の借金
	調査等委託 925万円		国のお金
	測量等委託 356万7千円		都のお金
			その他

基本計画に基づき、令和3年度から6年度にかけて中央公民館等の複合化に係る基本設計・実施設計等を行います。また、令和5年度は、芝生広場の現況測量、庁舎及び中央図書館の劣化診断、土壌汚染表層調査、損失補償算定等を実施します。

担当：公共施設マネジメント課

◆十一小、十三小及び十四小の更新等に向けた取組 7億1,700万円

主な経費	十一小の基本設計方針策定 1,200万円	財源内訳	市のお金 4,100万円
	十一小拡張用地購入等 6億8,700万円		市の借金 6億7,600万円
	十三小の基本計画策定 1,800万円		国のお金
	十四小の基本計画策定 債務負担行為		都のお金
			その他

十一小について、基本計画のもと、設計の前段階として、令和4年度から5年度にかけて設計条件の整理、配置・動線案等を検討するとともに、校地拡張用地を購入します。十三小については令和4年度から5年度にかけて、十四小については令和5年度から7年度にかけて、建築に係る制約条件の整理や、具体的な施設イメージを整理するための配置・動線案等の検討を行い、基本計画を策定します。

担当：教育総務課

◆庁舎機能の強化

2億7,963万7千円

主な経費	庁舎非常用電源設備改修工事 1億4,634万1千円	財源内訳	市のお金 16万7千円
	庁舎外壁タイル補修工事 1億3,329万6千円		市の借金 2億630万円
			国のお金
			都のお金 7,317万円
			その他

72時間の継続稼働時間を確保するための非常用電源設備改修工事及び庁舎外壁タイル補修工事を行います。

担当：総務課

◆地方税共通納税システムにおける対象税目の拡大及び地方税統一QRコードの活用

730万9千円

主な経費	税目拡大改修 71万5千円	財源内訳	市のお金 73万2千円
	QRコード改修 659万4千円		市の借金
			国のお金
			都のお金 657万7千円
			その他

令和6年度課税分から地方税共通納税システムの対象税目に国民健康保険税及びたばこ税を追加し、納付手段の電子化を図るべく、税務システム関連の改修を行います。このうち、国民健康保険税については、電子納付機会の拡大や納付済通知書の管理業務を簡略にすることを可能とする環境整備として、納付書にQRコードを付すための改修も行います。

担当：収納課、情報政策課、会計課

◆保育園のICT化

413万6千円

主な経費	保育業務支援システム導入 413万6千円	財源内訳	市のお金 72万9千円
			市の借金
			国のお金
			都のお金
			その他 340万7千円

公立保育園において、登園等の管理にICTシステムを導入し、通園している園児の保護者の負担を軽減するとともに、各公立保育園等が行う事務の効率化を図ります。

担当：情報政策課、保育課

◆学童クラブのICT化

613万3千円

主な経費	備品購入等 547万3千円	財源内訳	市のお金 35万3千円
	通信料 49万5千円		市の借金
	セキュリティソフト使用料 16万5千円		国のお金 204万4千円
			都のお金 373万6千円
			その他

直営の学童クラブ（25クラブ）にインターネット環境を整備するとともに、パソコン、プリンター等の情報機器を配備し、学童クラブ指導員等の事務の効率化を図ります。

担当：子育て支援課

◆オンライン講座等開催に向けた環境整備

248万6千円

主な経費	オンライン講座等開催用アカウント使用料 35万7千円	財源内訳	市のお金	24万9千円
	オンライン講座等開催用備品 (パソコン、講師撮影用カメラ) 212万9千円		市の借金	
			国のお金	
			都のお金	223万7千円
			その他	

公民館主催の講座等について、オンライン開催できる環境を整えるため、全館にオンライン講座等開催用のアカウントやパソコン、カメラを配備します。

担当：公民館

参 考 资 料

一般会計予算について

1 予算の概要

(1) 歳入のポイント

- 市税は、個人市民税、法人市民税、固定資産税や都市計画税などの増により、前年度と比べて12億7,400万円、4.1%の増となりました。
- 地方交付税は、引き続き普通交付税の交付団体になると見込みますが、関連する臨時財政対策債と合わせると、前年度と比べて13億2,700万円、46.9%の減となりました。
- 財源不足を補うために、基金の活用などで補てんすることとしました。

(2) 歳出のポイント

- 扶助費は、障害者自立支援給付費や施設型給付費の増などにより、前年度と比べて約5億8,300万円、2.4%の増となりました。
- 繰出金は、国民健康保険事業特別会計への繰出の増などにより、前年度と比べて4億7,700万円、7.0%の増となりました。
- 投資的経費は、学校給食センター建設等費用などが減となりましたが、学校体育館冷暖房設備設置や小平第十一小学校拡張用地購入の増などにより、前年度と比べて約8,900万円、1.1%の増となりました。

(3) 行財政改革への取り組み

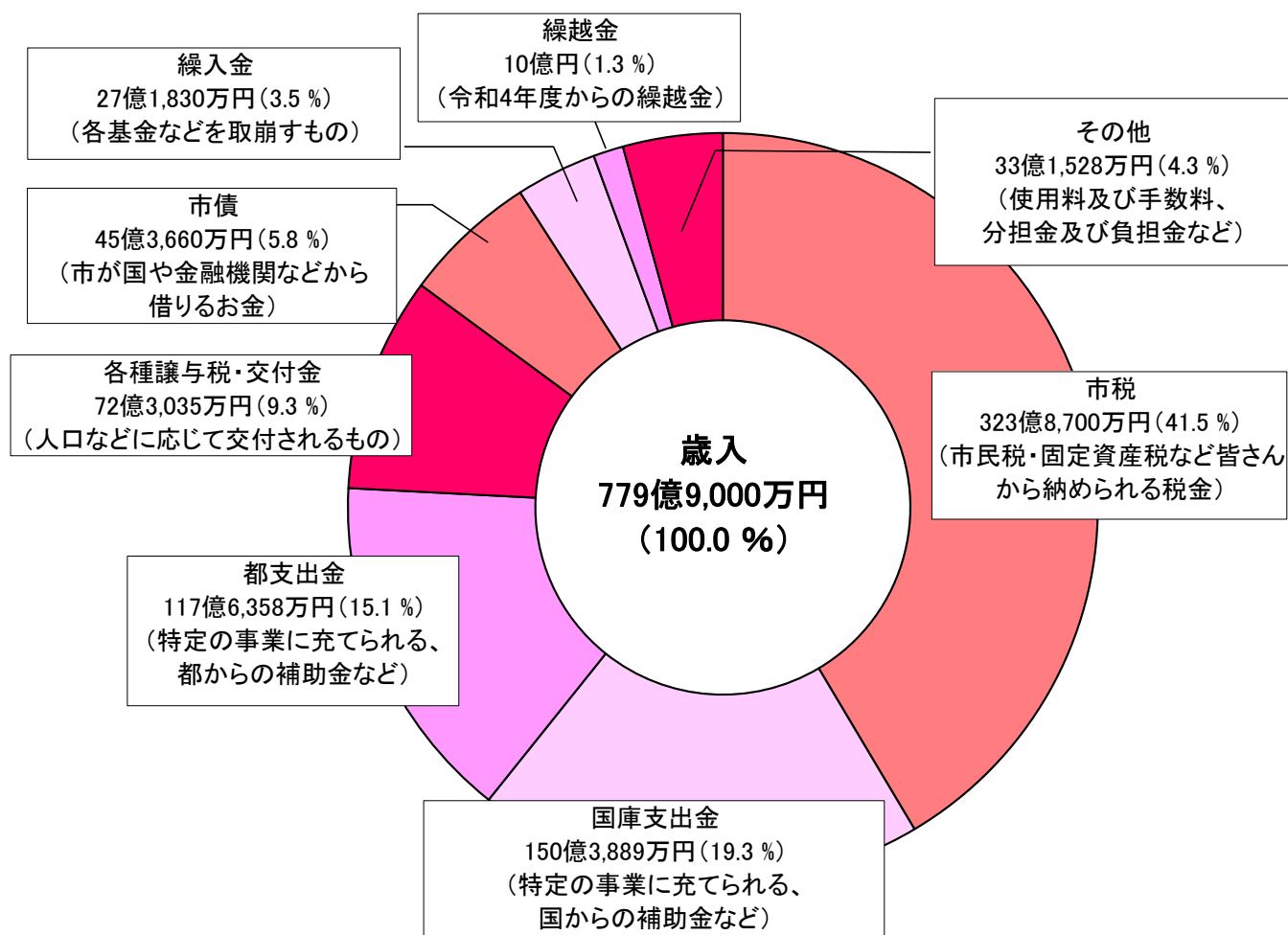
- 行財政改革の取組効果は約6,800万円となりました。
- 歳入確保策としては、塵芥処理手数料の見直し等により約5,200万円を確保しました。
- 歳出削減策としては、委託内容の見直しや内部努力による管理事務費等の見直しなどにより約1,100万円、補助金や事務事業の見直しなど施策の見直し等により約500万円、それぞれ経費を節減しました。

2 歳入予算について

(単位：%)

区分	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率
市税	323億8,700万円	311億1,300万円	12億7,400万円	4.1
国庫支出金	150億3,889万円	166億5,726万円	△16億1,837万円	△9.7
都支出金	117億6,358万円	117億5,676万円	682万円	0.1
各種譲与税・交付金	72億3,035万円	74億4,335万円	△2億1,300万円	△2.9
市債	45億3,660万円	47億1,940万円	△1億8,280万円	△3.9
繰入金	27億1,830万円	24億6,285万円	2億5,545万円	10.4
繰越金	10億円	10億円	—	—
その他	33億1,528万円	22億9,137万円	10億2,390万円	44.7
合計	779億9,000万円	774億4,400万円	5億4,600万円	0.7

※「その他」には、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入などを含まれます。



- (1) 市税は、前年度比 12 億 7,400 万円増の 323 億 8,700 万円となりました。
- (2) 国庫支出金、都支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業などの減や高校生等医療費助成の増などにより、それぞれ 16 億 1,837 万円の減、682 万円の増となりました。
- (3) 各種譲与税・交付金は、配当割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金などが増となったものの、地方交付税の減などにより、全体で前年度比 2 億 1,300 万円の減となりました。
- (4) 各種譲与税・交付金のうち、地方交付税は、市税等の増による影響などを考慮し、8 億円減の 11 億円となりました。
- (5) 市債は、学校給食センターの更新事業や臨時財政対策債の減などにより、全体で 1 億 8,280 万円の減となりました。
- (6) 繰入金は、公共施設整備基金繰入金や都市計画事業基金繰入金の増などにより、全体で 2 億 5,545 万円の増となりました。
- (7) その他のうち、使用料及び手数料については塵芥処理手数料の増、財産収入については普通財産売払の増などにより、全体で 10 億 2,390 万円の増となりました。

◆市税

- 市税収入は、市民税の大幅な増により、前年度比 12 億 7,400 万円の増となりました。
- 市民税は、個人においては、景気の緩やかな持ち直しによる所得の増、法人においては、一部大手法人の業績伸長を見込み、それぞれ前年度比 5 億 2,571 万円の増、3 億 9,352 万円の増となりました。
- 固定資産税・都市計画税は、土地においては、過年度の減免等の傾向を加味し、家屋においては、在来家屋分と新增築家屋分及び滅失家屋分などを見込み、前年度比 3 億 2,876 万円の増となりました。

(単位：%)

区 分	令和 5 年度予算額	令和 4 年度予算額	増減額	増減率	R 元決算 (比 前時)
市 民 税	166 億 3,255 万円	157 億 1,333 万円	9 億 1,922 万円	5.8	165 億円
個 人	146 億 7,167 万円	141 億 4,596 万円	5 億 2,571 万円	3.7	141 億円
法 人	19 億 6,088 万円	15 億 6,737 万円	3 億 9,352 万円	25.1	24 億円
固定資産税・ 都市計画税	147 億 4,749 万円	144 億 1,874 万円	3 億 2,876 万円	2.3	144 億円
固定資産税	123 億 3,566 万円	120 億 4,582 万円	2 億 8,984 万円	2.4	120 億円
都市計画税	24 億 1,183 万円	23 億 7,292 万円	3,891 万円	1.6	24 億円
市たばこ税	8 億 3,867 万円	8 億 2,020 万円	1,848 万円	2.3	8 億円
そ の 他	1 億 6,829 万円	1 億 6,074 万円	755 万円	4.7	1 億円
合 計	323 億 8,700 万円	311 億 1,300 万円	12 億 7,400 万円	4.1	319 億円

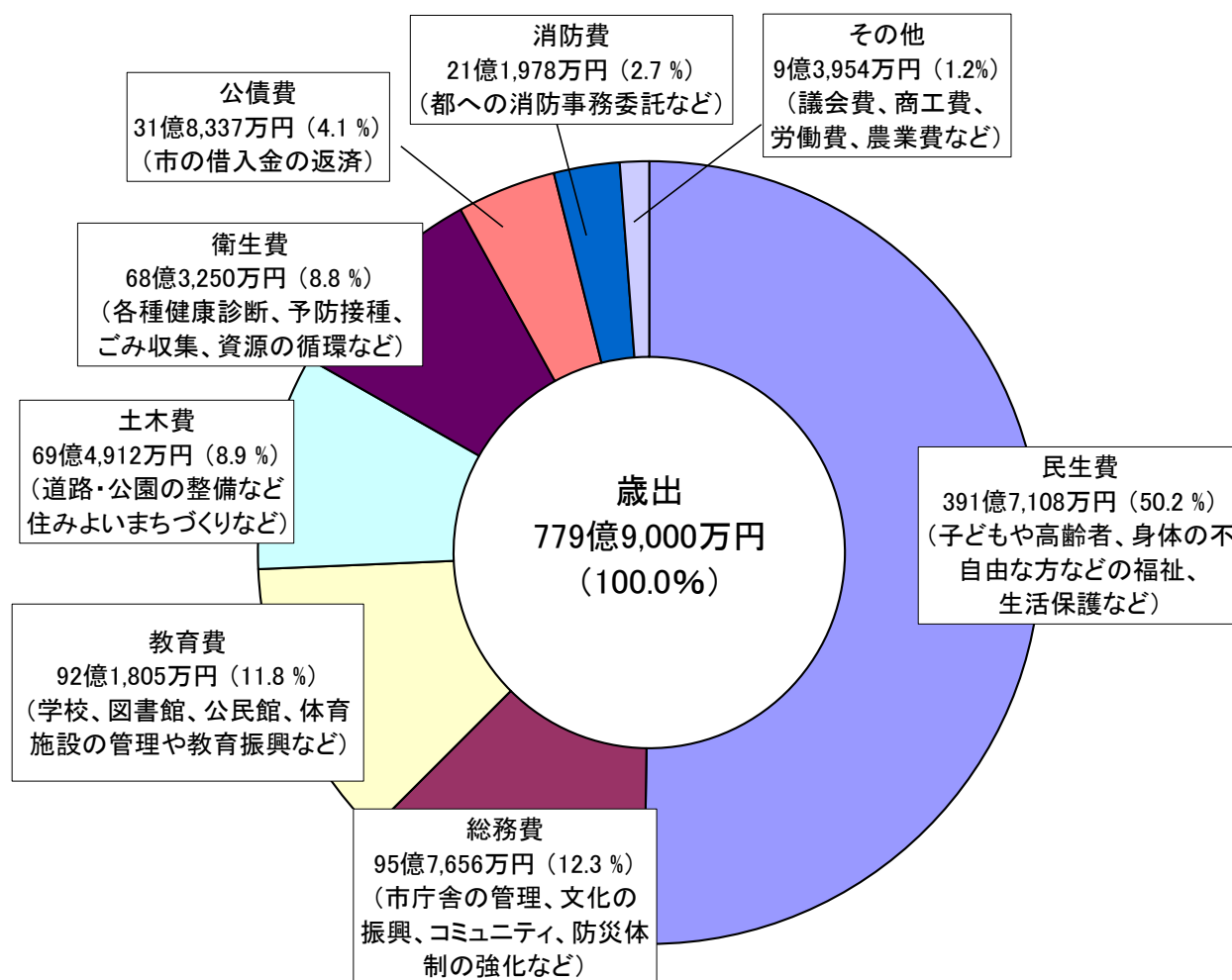
3 歳出予算について

(1) 目的別内訳

市の歳出を、民生費、総務費、教育費、土木費など目的に応じて区分しています。

(単位：%)

区 分	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率
民 生 費	391 億 7,108万円	376 億 6,280万円	15 億 829万円	4.0
総 務 費	95 億 7,656万円	101 億 2,488万円	△5 億 4,833万円	△ 5.4
教 育 費	92 億 1,805万円	83 億 1,589万円	9 億 215万円	10.8
土 木 費	69 億 4,912万円	74 億 9,866万円	△5 億 4,954万円	△ 7.3
衛 生 費	68 億 3,250万円	74 億 6,559万円	△6 億 3,309万円	△ 8.5
公 債 費	31 億 8,337万円	32 億 5,058万円	△ 6,721万円	△ 2.1
消 防 費	21 億 1,978万円	21 億 9,539万円	△ 7,561万円	△ 3.4
そ の 他	9 億 3,954万円	9 億 3,020万円	934万円	1.0
合 計	779 億 9,000万円	774 億 4,400万円	5 億 4,600万円	0.7



目的別区分の主な事業内容及び予算額

①民生費

民間保育園等運営経費	70億 4,141万円
障害者自立支援給付費経費	59億 1,463万円
生活保護費等経費	58億 6,240万円
児童手当等経費	27億 397万円
学童クラブ経費	10億 7,342万円
認証保育所等補助経費	9億 5,680万円
特別会計（国保・後期高齢・介護）繰出金	73億 1,300万円

②総務費

私立幼稚園教育充実振興経費	23億 1,475万円
基金積立	10億 3,701万円
情報システム管理・運営経費	8億 4,495万円
庁舎管理経費	6億 5,834万円
市民文化会館運営経費	5億 1,075万円
地域センター維持管理経費	2億 8,534万円
窓口事務事業経費	1億 9,412万円
多摩六都科学館組合経費	1億 円
小平市議会議員選挙経費	9,958万円
市税の徴収経費	9,304万円

③教育費

小学校経費（小学校施設管理、就学援助、保健事業など）	35億 8,567万円
中学校経費（中学校施設管理、就学援助、保健事業など）	10億 1,251万円
図書館経費	9億 1,423万円
教育指導費（小・中学校の教育に関する経費、教育 ICT 管理 運営事業、特別支援教育に関する経費など）	8億 1,030万円
小学校給食運営経費	5億 7,469万円
公民館経費	4億 3,592万円
体育館・体育施設経費	4億 2,348万円
中学校給食運営経費	3億 9,798万円

④土木費

小川駅西口地区・小平駅北口地区市街地再開発の推進	20億 594万円
公園緑地費（維持管理、緑の保護など）	7億 8,449万円
道路橋りょう費（道路維持、道路新設改良など）	7億 3,517万円
街路事業費（都市計画道路整備・道路と鉄道の立体化 の推進）	5億 7,129万円
交通安全対策費（交通安全対策、自転車対策など）	4億 5,079万円
下水道事業会計繰出金	11億 4,000万円

⑤衛生費

塵芥処理経費（ごみ収集、処分費など）	28億 4,648万円
予防接種経費（新型コロナウイルスワクチン経費含む）	16億 3,352万円
昭和病院構成市分賦金	5億 5,473万円
資源循環推進経費（資源循環の推進経費など）	5億 4,755万円

⑥消防費

常備消防経費（消防事務の都委託など）	20億 508万円
非常備消防経費（消防団関係の運営経費）	7,803万円

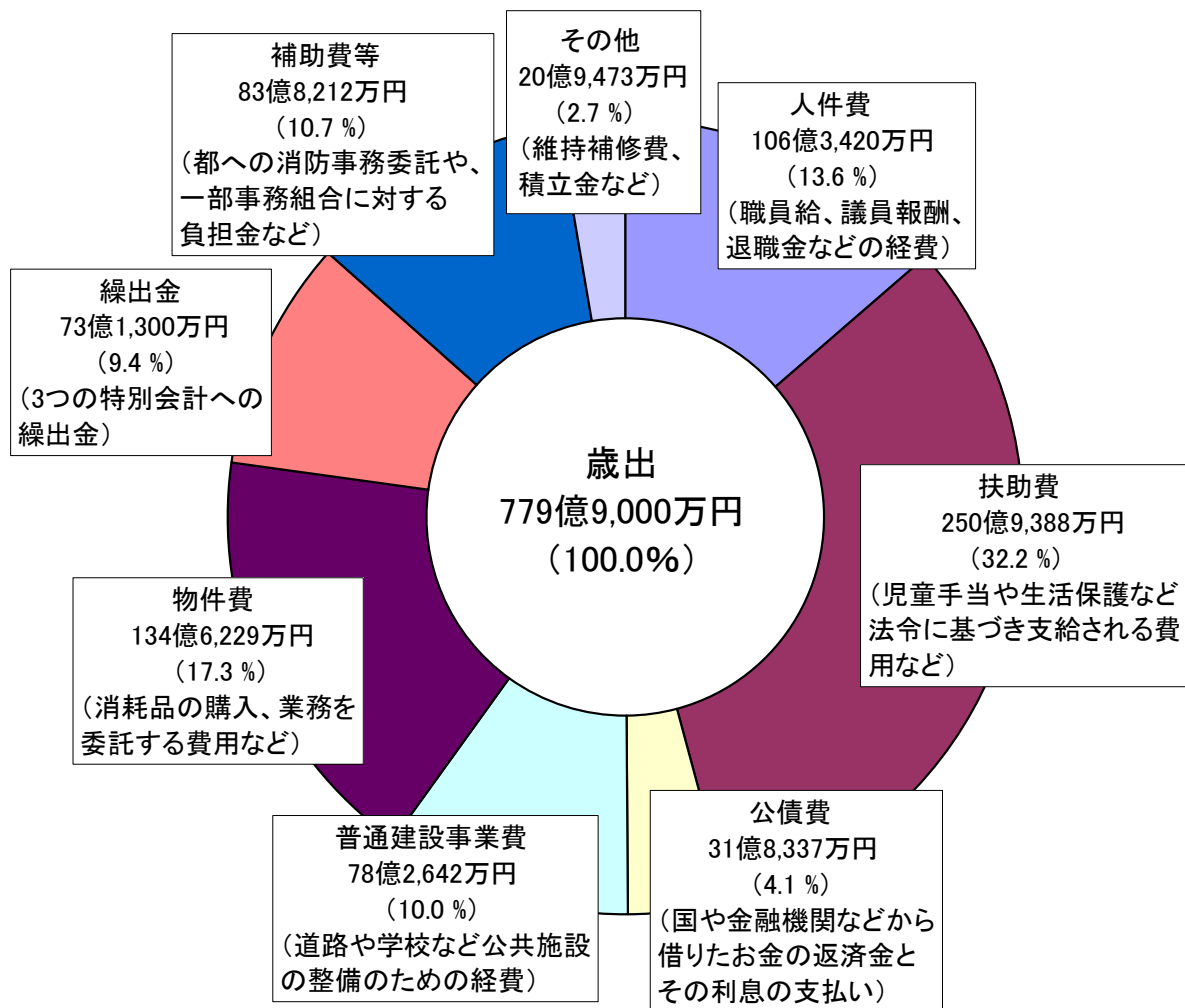
⑦その他（議会費、商工費、労働費、農業費など）

商工振興経費（商店街等支援、観光まちづくり推進など）	1億 1,015万円
農業振興経費（農業経営基盤の強化支援など）	9,662万円
議会の運営費	4,700万円
労働諸経費（小平市シルバー人材センター補助）	3,156万円

(2) 性質別内訳

(単位：%)

区 分	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減額	増減率
義務的経費	389 億 1,144万円	383 億 4,155万円	5 億 6,990万円	1.5
人件費	106 億 3,420万円	105 億 7,986万円	5,434万円	0.5
扶助費	250 億 9,388万円	245 億 1,111万円	5 億 8,277万円	2.4
公債費	31 億 8,337万円	32 億 5,058万円	△ 6,721万円	△ 2.1
普通建設事業費	78 億 2,642万円	77 億 3,762万円	8,879万円	1.1
その他の経費	312 億 5,214万円	313 億 6,483万円	△1 億 1,269万円	△ 0.4
物件費	134 億 6,229万円	135 億 9,065万円	△1 億 2,836万円	△ 0.9
繰出金	73 億 1,300万円	68 億 3,600万円	4 億 7,700万円	7.0
補助費等	83 億 8,212万円	85 億 3,579万円	△1 億 5,367万円	△ 1.8
その他	20 億 9,473万円	24 億 239万円	△3 億 766万円	△ 12.8
合 計	779 億 9,000万円	774 億 4,400万円	5 億 4,600万円	0.7



市の歳出を、人件費、扶助費、物件費など性質に応じて区分しています。性質別に分類することにより、例えば任意に削減できない義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が多いほど任意に使えるお金が少なくなるなど、市の財政状況を知ることができます。

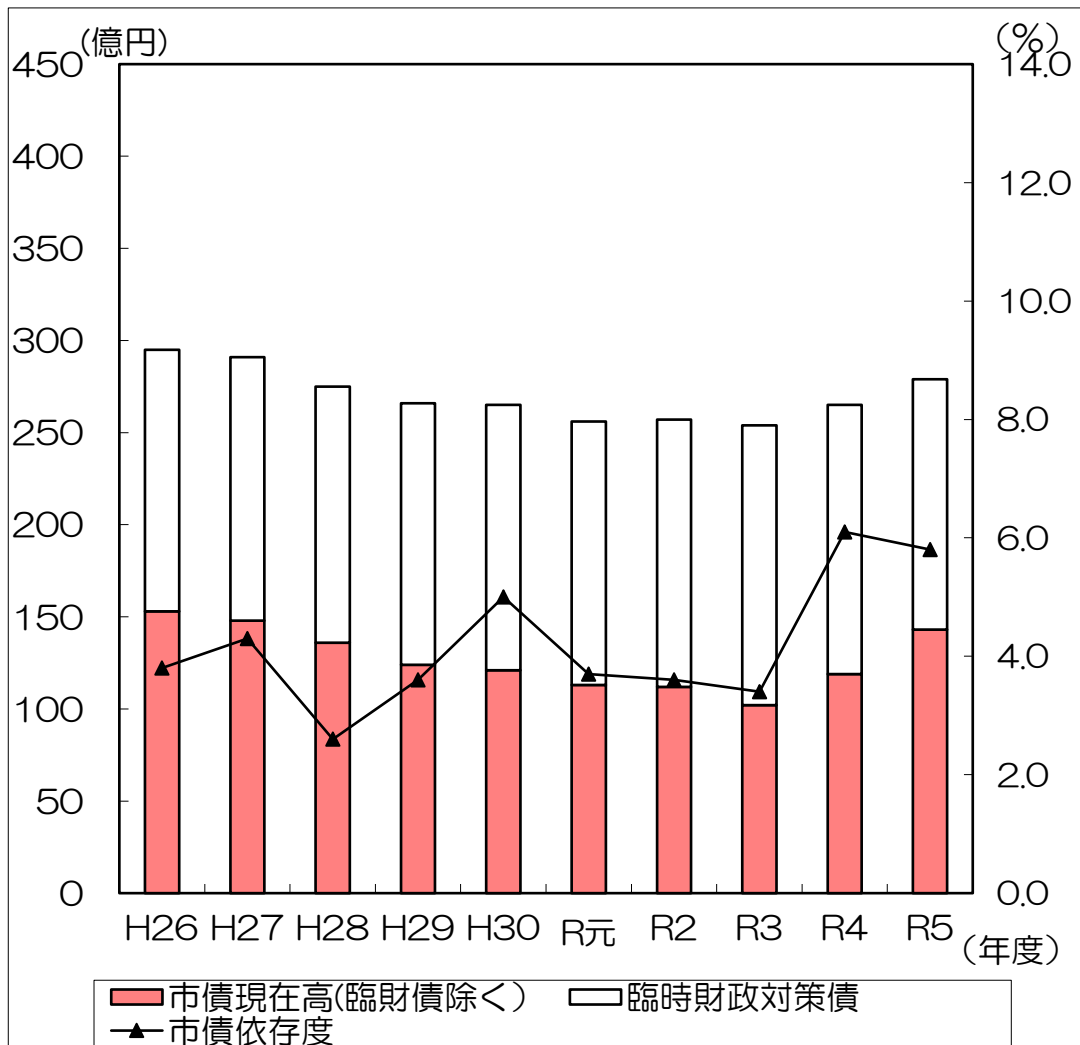
- ① 人件費は、会計年度任用職員報酬・社保等の増などにより、0.5%の増となりました。
- ② 扶助費は、障害者自立支援給付費、施設型給付費、民間保育園運営費等の増などにより、約5.8億円、2.4%の増となりました。
- ③ 公債費は、償還元金、償還利子の減により、2.1%の減となりました。
- ④ 普通建設事業費は、学校体育館冷暖房設備設置の増や十一小拡張用地購入などにより1.1%の増となりました。
- ⑤ 物件費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業や弁当給食調理・配送・配膳業務の減などにより、0.9%の減となりました。
- ⑥ 繰出金は、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計の増により7.0%の増となりました。
- ⑦ 補助費等は、子育てのための施設等利用給付費（幼稚園等分）、消防事務委託の減などにより、1.8%の減となりました。

4 小平市の財政状況

(1) 市債の推移

① 一般会計

- 市債現在高は、平成16年度末をピークに減少してきましたが、令和2年度に増加に転じました。令和5年度も償還見込額より借入見込額が大きいため、令和4年度末市債現在高見込額よりも14億円増加します。
- 市債依存度（歳入に占める市債の割合）は、令和4年度よりも0.3ポイント減少します。



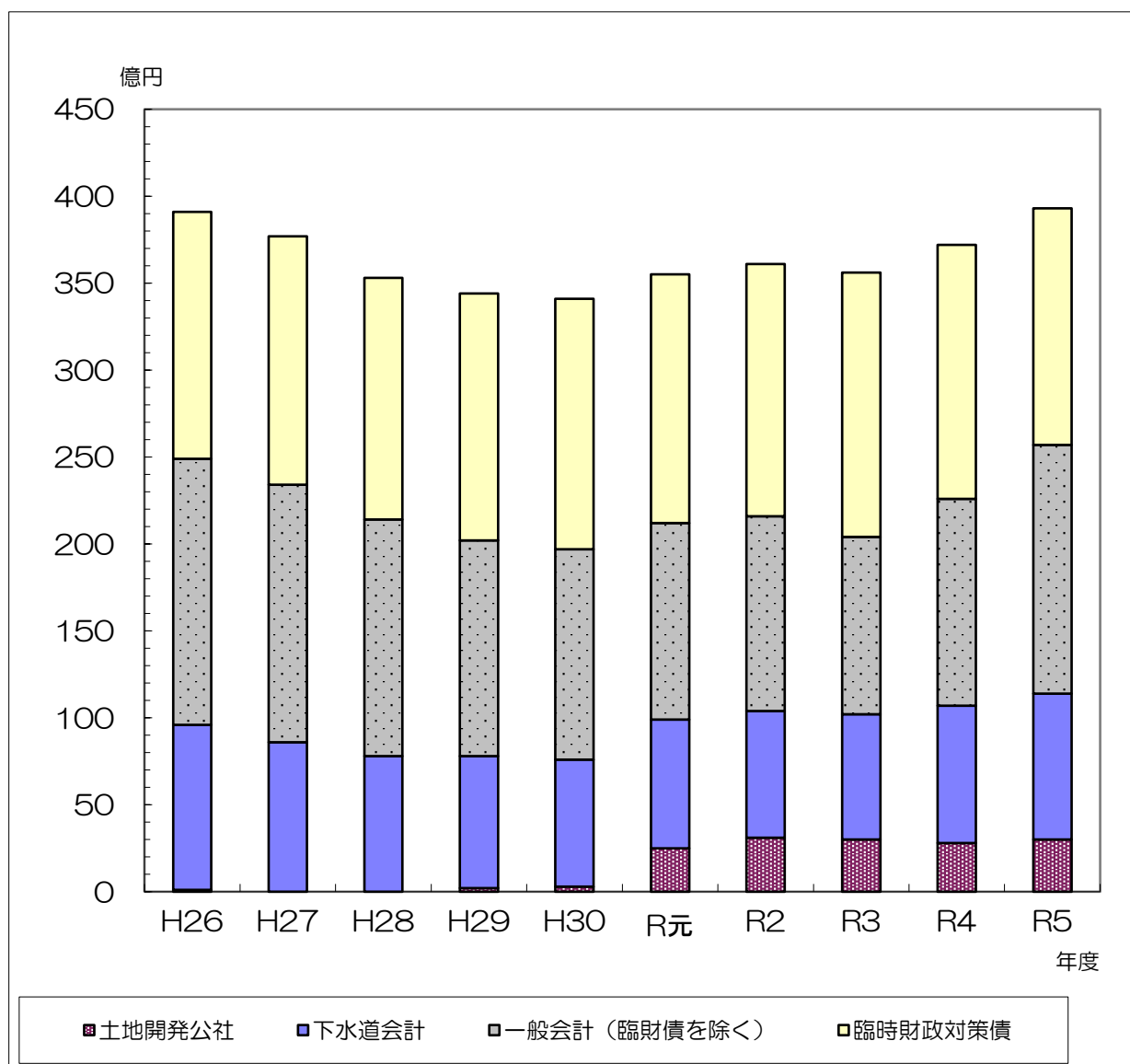
(単位: 億円・%)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
市債依存度	3.8	4.3	2.6	3.6	5.0	3.7	3.6	3.4	6.1	5.8
市債現在高	295	291	275	265	264	256	257	254	265	279
うち臨時財政対策債	142	143	139	142	144	143	145	152	146	136

※平成26年度から令和3年度は年度末現在高、令和4年度・令和5年度は年度末現在高見込額

② 市全体の債務の推移

○ 市全体の債務は、各会計及び土地開発公社の債務の減少により、平成8年度のピークから平成30年度までは減少してきましたが、令和元年度に増加に転じました。令和5年度末の市全体の債務残高は、各会計及び土地開発公社の債務残高が増加しているため、令和4年度より21億円増加します。



(単位：億円・%)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	
一般会計	295	291	275	265	264	256	257	254	265	279	
うち臨時財政対策債	142	143	139	142	144	143	145	152	146	136	
下水道会計	95	86	78	76	73	74	73	72	79	84	
土地開発公社	1	0	0	2	3	25	31	30	28	30	
債務残高合計	391	377	353	343	340	355	361	356	372	393	
対前年度増減率		△ 6.0	△ 3.6	△ 6.4	△ 2.8	△ 0.9	4.4	1.7	△ 1.4	4.5	5.6

※平成26年度から令和3年度は年度末現在高、令和4年度・令和5年度は年度末現在高見込額

(2) 基金の推移

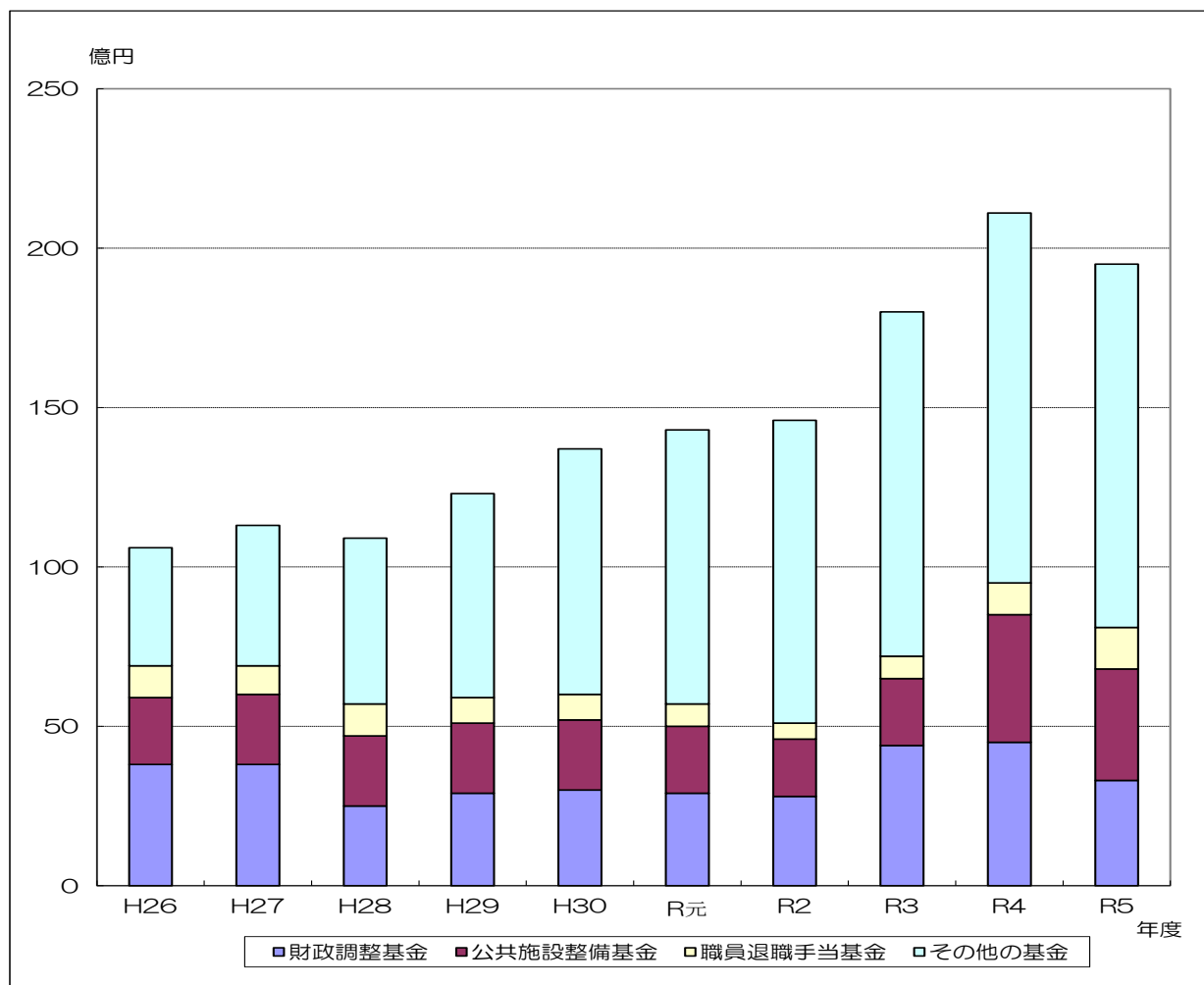
市では毎年度、基金（市の貯金）を積み立てています。

基金には、経済事情の変動等による財源不足の補てんのための「財政調整基金」、公共施設の整備資金に充てるための「公共施設整備基金」、市職員の退職手当に充てるための「職員退職手当基金」など、目的に応じた18の基金があります。

これらの基金残高の総額については、平成25年度以降増加傾向にあります。令和5年度は、財源不足に対応するため減少の見込みとなっています。

財政調整基金は予期しない収入の減少や災害など不測の支出増に備え、安定的な財政運営を行うために必要な基金ですが、近年においては当初予算を編成するために10億円以上の取崩しが必要となっています。また、今後想定される公共施設の老朽化に伴う更新等に備える必要もあり、財政調整基金と公共施設整備基金の残高確保の取組が肝要です。

なお、令和5年度の市民一人当たりの基金（貯金）の金額は、約9万9千円となります。



(単位: 億円・%)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
財 政 調 整 基 金	38	38	25	29	30	29	28	44	45	33
公 共 施 設 整 備 基 金	21	22	22	22	22	21	18	21	40	35
職 員 退 職 手 当 基 金	10	9	10	8	8	7	5	7	10	13
そ の 他 の 基 金	37	44	52	64	77	86	95	108	116	114
基 金 残 高 合 計	106	113	109	123	137	143	146	180	211	195
対 前 年 度 増 減 率	12.8	6.6	△ 3.5	12.8	11.4	4.4	2.1	23.3	17.2	△ 7.6

※平成26年度から令和3年度は年度末残高額、令和4年度・令和5年度は年度末残高見込額

(3) 財政指標

財政指標とは、市の財政運営が健全かどうかを表す指数です。

主な財政指標として、経常収支比率・財政力指数・実質公債費比率などがあります。

経常収支比率とは、人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、地方税・地方交付税・地方譲与税などの経常一般財源や臨時財政対策債などが、どれくらい充てられているかを見る指標です。この比率から財政構造の弾力性を判断することができ、数値が低いほど財政構造に弾力性があることとなります。市における目安として、70～80%を超えると普通建設事業などの臨時的な経費に充てられる財源が少なくなり、財政構造の弾力性が失われつつあるとされています。小平市では、普通交付税の追加交付などにより令和3年度に一時的に80%台となったものの、その他の年では90%台となっており、財政構造の硬直化が進んでいるといえます。今後についても、扶助費や補助費等の経常経費の増が見込まれるため、大きく好転するのは難しい状況です。

財政力指数とは、地方公共団体の財政力の強弱を表す数値で、「基準財政収入額／基準財政需要額」により算定されます。その数値が大きいほど財政力が強いとみることができ、単年度で1を超える団体は普通交付税の不交付団体となります。小平市は平成22年度に財政力指数が1を下回って以降、普通交付税の交付団体となっています。令和5年度についても、扶助費の増などにより、財政力指数は1を下回ることが予想され、引き続き交付団体となる見込みです。

実質公債費比率とは、地方公共団体の財政規模に対する公債費の割合を表す指標で、公債費には一般会計だけでなく、一般会計が負担する下水道事業会計や一部事務組合などの実質的な公債費も含んでいます。平成19年度決算から導入された健全化判断比率の1つで、25%を超えると健全化団体等へ移行しますが、小平市は基準を大きく下回っています。

(単位：%)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
経常収支比率	93.9	91.8	94.9	93.0	92.7	93.7	91.0	83.1	97.5	98.9
	96.8	94.2	96.8	96.6	96.5	96.7	94.7	87.5	100.0	100.0
財政力指数	0.952	0.966	0.976	0.977	0.976	0.973	0.968	0.947	0.926	0.928
	0.971	0.976	0.982	0.973	0.973	0.972	0.960	0.910	0.909	0.966
実質公債費比率	2.1	1.1	0.6	0.7	1.2	1.7	2.0	2.0	2.2	2.2

※令和3年度以前は決算数値、令和4年度は決算見込み数値（ただし、経常収支比率は当初予算の数値）、令和5年度は当初予算数値

※経常収支比率は、上段：経常一般財源に減税補てん債及び臨時財政対策債を含めて算出した数値

下段：経常一般財源から減税補てん債及び臨時財政対策債を除いて算出した数値

※財政力指数は、上段：当該年度を含む過去3年間の平均値

下段：単年度

※実質公債費比率は、当該年度を含む過去3年間の平均値

(4) 小平市の家計簿

小平市の一般会計予算（令和5年度）を家庭にたとえて家計簿を作りました。

小平家の1年間の収入と支出 総額779.9万円 ・貯金残高 211万円
 ・ローン残高 265万円

1年間の収入		1年間の支出	
給料（市税）	323.9万円	食費（人件費）	106.4万円
賞与 （各種譲与金、交付金）	61.3万円	学費、医療費（扶助費）	250.9万円
パート収入 （分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入、繰越金）	43.2万円	ローン返済金（公債費）	31.8万円
医療費や家の増改築等に対する助成金、奨学金 （国庫・都支出金）	268.0万円	光熱水費、生活用品 （物件費）	134.6万円
実家からの仕送り （地方交付税）	11.0万円	車や電化製品等の修理 （維持補修費）	4.6万円
稼ぎの計	707.4万円	自治会費（補助費）	83.8万円
貯金の取崩し（繰入金）	27.2万円	貯金（積立金）	10.4万円
ローン（市債）	45.3万円	子への仕送り（繰出金）	73.1万円
収入計	779.9万円	家の増改築等 （普通建設事業費）	78.3万円
		友人への貸付（貸付金）	5.0万円
		へそくり（予備費）	1.0万円
		支出計	779.9万円

小平家は、1年間で707.4万円の稼ぎがあります。この中には、一定水準の家計のやりくりができないときに実家（国）から仕送りがされるお金（地方交付税）が11万円含まれています。これに対して1年間に使うお金は779.9万円ですので、稼いだお金だけでは足りません。そこで、貯金の取崩しと新たなローンを組むことで不足分の72.5万円を賄って生活をしています。稼いだお金だけでは生活ができないというのは、とても不安定な状況であるといえます。

小平家では、すでに銀行で265万円のローンを組んでいます。今後、利子を加えて返済することになります。

また、備えや事業資金としての貯金が211万円ありますが、この貯金には使用目的が決められているものが多く、いつでもおろせる貯金としては45万円しかありません。

昨年度と比べると給料は増えていますが、学費や医療費などの出費も増えていきます。そのため、貯金の取崩しや新たなローン契約などにより、なんとか必要なお金を確保しました。

小平家ではここ数年、新たな借金を増やさないように努力してきたため、借金の残高は減ってきていましたが、今後は、家の増改築等の出費に伴い、新たに組むローンも増え、借金の残高は増えていくことが見込まれることから、苦しい状況は続いていくものと思われます。また、貯金においては、残高は増えてはいますが、今年も不足分の一部を貯金の取崩しで賄っているため、貯金の残高を大きく増やすことは難しい状況です。

今後さらに医療費が増え、古くなってきた家の改修などにもお金がかかってくるのが予想されますが、給料が大幅に増えることは期待できません。

そのため給料以外の収入を得る方法を考え、節約に努めなければなりません。また、従来から支出してきたものも必要性を根本的に見直すとともに、新たに買うものも本当に必要か見極めて買うようにしていかなければなりません。



特別会計・下水道事業会計予算について

市が特定の事業を行う場合に、一般の歳入歳出と区分して収支会計を行う会計があります。小平市には、3つの特別会計と下水道事業会計があります。

1 国民健康保険事業特別会計

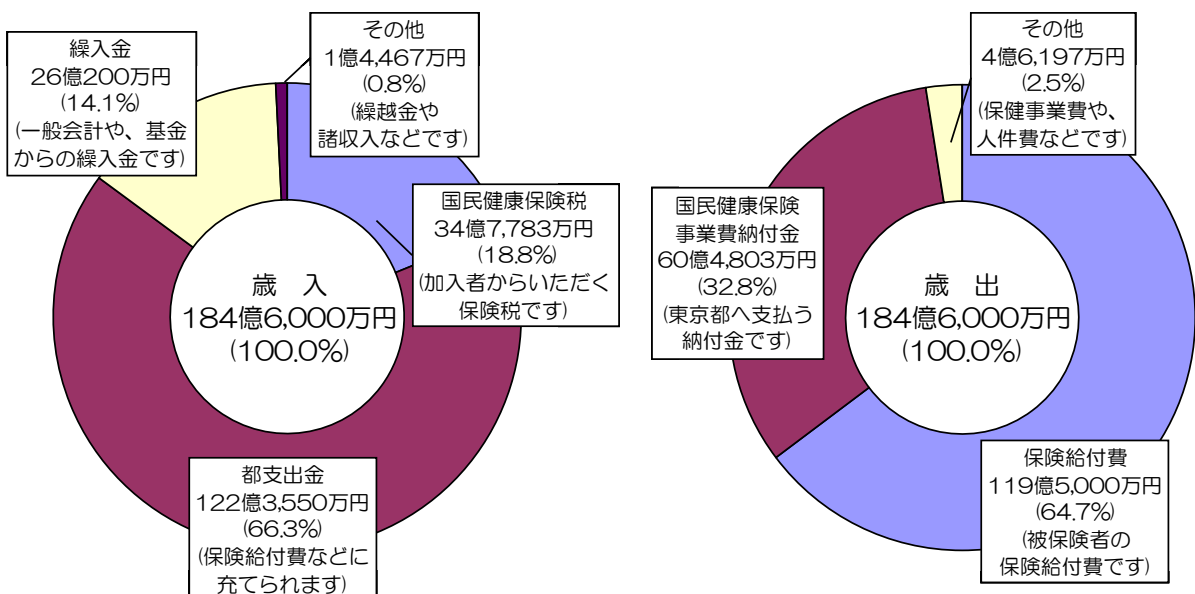
予算額は、前年度に比べ、6億7,000万円（3.8%）の増となりました。

歳入では、国民健康保険税は、被保険者の所得の状況から、前年度と比べ1.8%の増となりました。また、財源不足を補うため、一般会計繰入金を前年度と比べ3億1,000万円増の25億円とし、国民健康保険事業運営基金から1億200万円の繰り入れを行うことで、収支の均衡を図ります。

歳出では、東京都に納める国民健康保険事業費納付金が、前年度と比較し3億755万円（5.4%）の増となりました。また、歳出の約6割以上を占める保険給付費は、医療費の動向を踏まえ、前年度と比べ、3億5,000万円（3.0%）の増となりました。

保健事業では、健診率向上のため集団健診を実施するほか、第二期小平市データヘルス計画に基づく効果的・効率的な保健事業の実施により、医療費適正化及び人間ドック・脳ドック利用費補助を実施します。

なお、平均被保険者数は前年度に比べ800人（2.1%）の減を見込んでいます。



2 後期高齢者医療特別会計

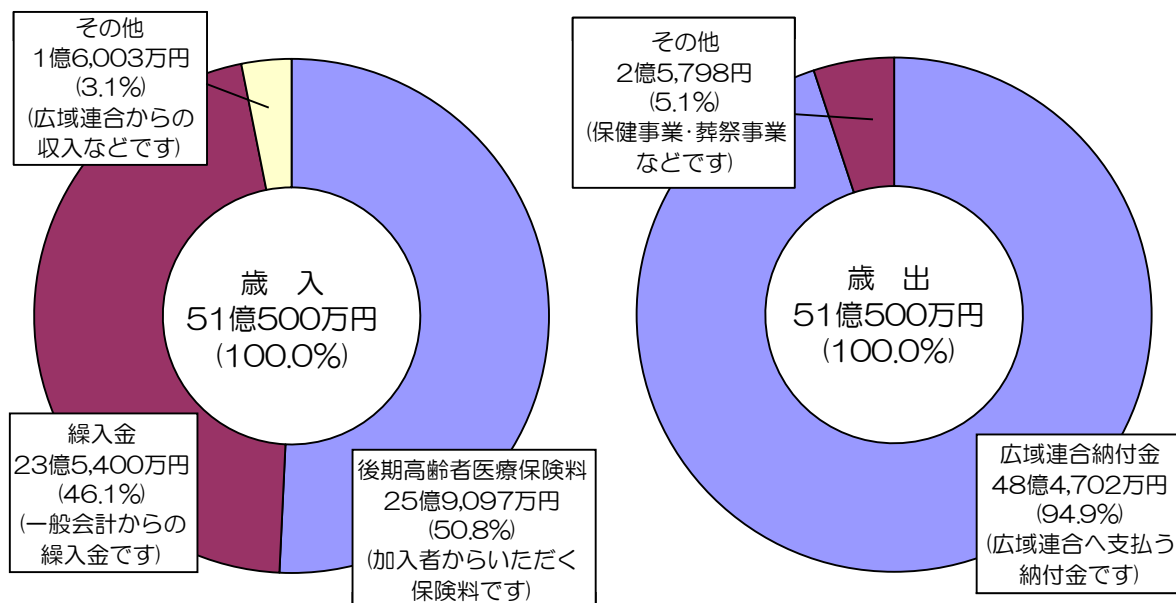
予算額は、前年度に比べ2億6,600万円（5.5%）の増となりました。

歳入は、保険料と繰入金が主なもので、歳出は、東京都後期高齢者医療広域連合へ納付する負担金が主なものとなります。

前年度に比べて被保険者が増えることなどから、広域連合への療養給付や保険料等の負担金が増となります。

その他、市の独自事業として国民健康保険と同様に、人間ドック・脳ドック利用費補助を実施します。

また、広域連合の委託を受けて健康診査、葬祭費支給事業を実施します。



3 介護保険事業特別会計

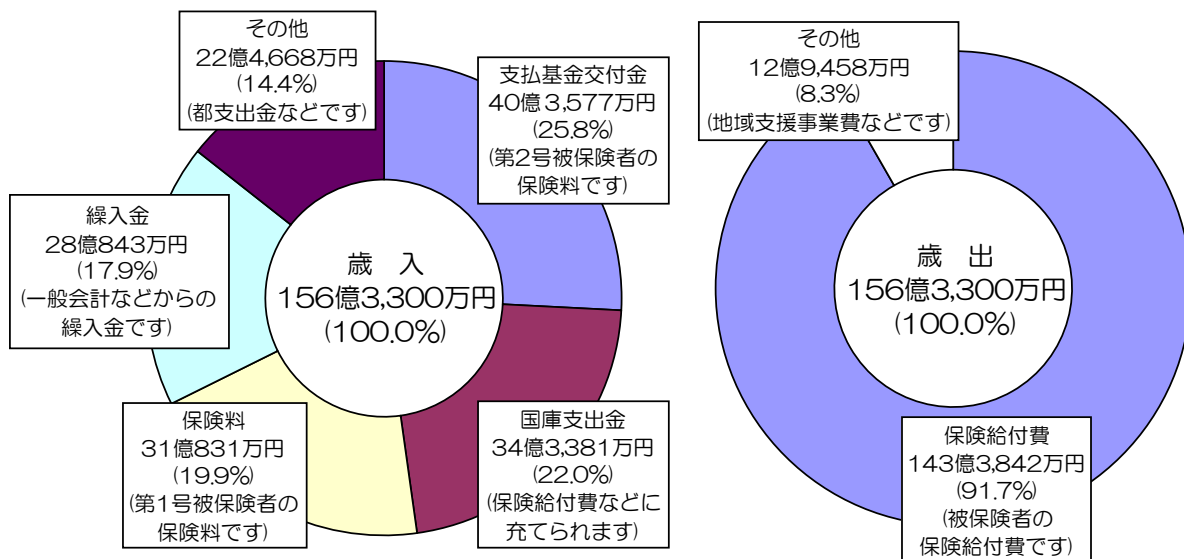
予算額は、前年度に比べ、5億9,000万円（3.9%）の増となりました。

歳出の9割以上を占める保険給付費は、要支援・要介護認定者数の増加が見込まれるため、4.3%の増となっています。

令和5年度は、小平市地域包括ケア推進計画（令和3年度から令和5年度まで）の最終年度として、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに伴う高齢者の多様な課題に対応するために、高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。

地域支援事業では、主に、介護予防・日常生活支援総合事業や、地域包括支援センターの運営事業、認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業などの各種事業を展開していきます。

なお、令和4年12月末時点の第1号被保険者数は、46,195人で、前年同期（45,935人）に比べ、0.6%の増、要支援・要介護の認定者数は、9,990人で、前年同期（9,663人）に比べ、3.4%の増となっています。

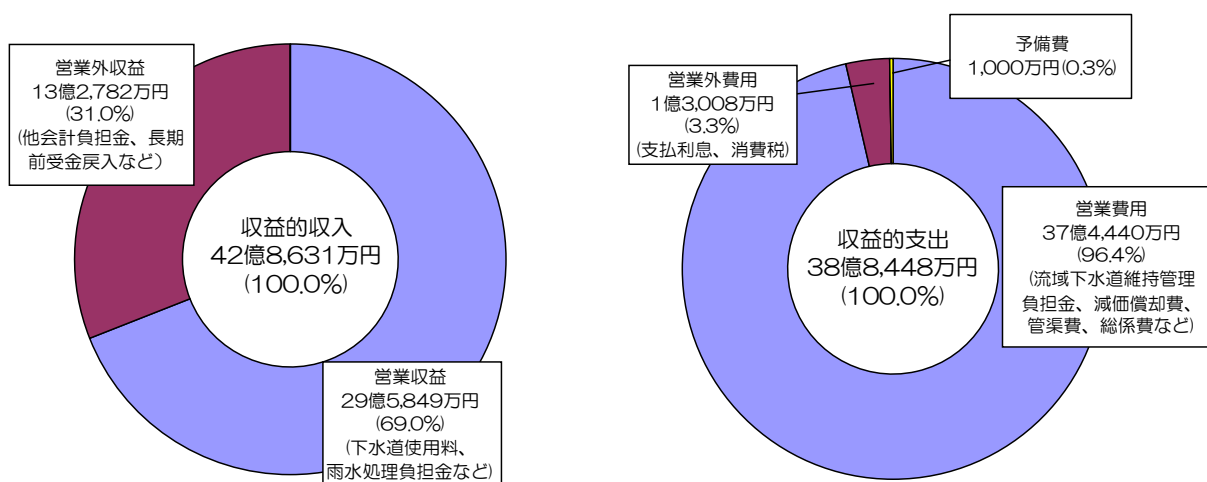


4 下水道事業会計

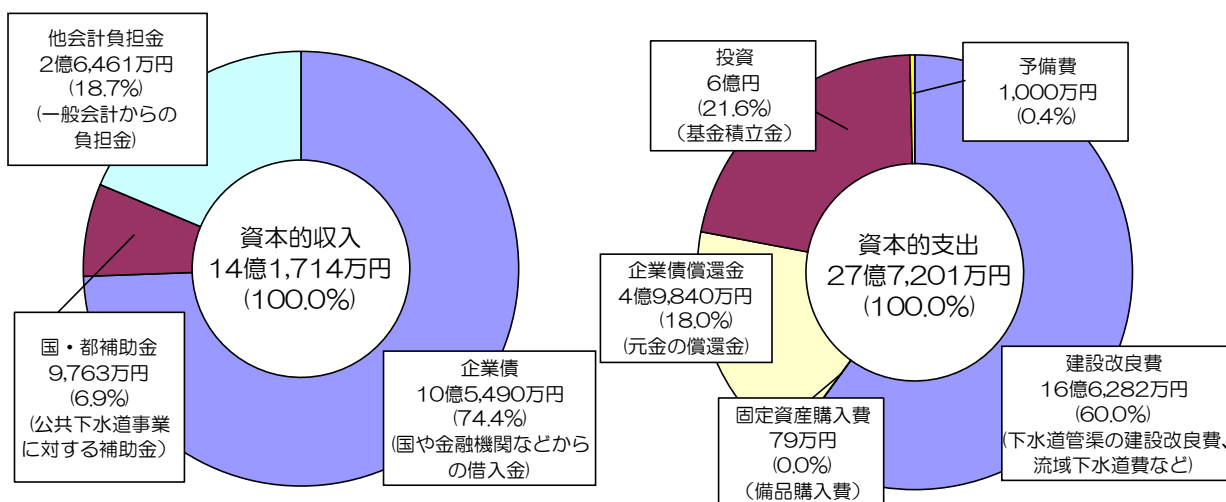
予算額は、収益的収入が前年度に比べ2,140万円の減、収益的支出が1,965万円の増、資本的収入が2億9,288万円の減、資本的支出が7,764万円の増となりました。資本的収入及び支出では、主に、地震対策や小川駅西口地区市街地再開発事業において、収入では企業債が、支出では建設改良費が減となりました。

令和5年度は、小平市第二次下水道プラン（計画期間：令和3年度から令和12年度）の3年目として、重点施策となる、「地震対策」、「施設の老朽化対策」などを引き続き実施します。「地震対策」では、一橋学園駅の東側、学園幹線において下水道管きょ耐震化工事を行います。「施設の老朽化対策」では、仲町処理分区の管路調査に加えて、主に学園・喜平処理分区の改築工事等を行います。

収益的収入支出



資本的収入支出



市役所の組織と連絡先

部 局 名	電 話 番 号	部 局 名	電 話 番 号
課 名		課 名	
企画政策部		環境部	
政策課	042 (346) 9503	環境政策課	042 (346) 9536
行政経営課	042 (346) 9756	資源循環課	042 (346) 9535
秘書広報課	042 (346) 9505	水と緑と公園課	042 (346) 9556
情報政策課	042 (346) 9509	下水道課	042 (346) 9559
財政課	042 (346) 9504	都市開発部	
公共施設マネジメント課	042 (346) 9557	都市計画課	042 (346) 9554
総務部		建築指導課	042 (346) 9851
総務課	042 (346) 9511	公共交通課	042 (346) 9814
契約検査課	042 (346) 9517	地域整備支援課	042 (346) 9592
職員課	042 (346) 9514	道路課	042 (346) 9548
防災危機管理課	042 (346) 9519	交通対策課	042 (346) 9549
地域安全課	042 (346) 9614	施設整備課	042 (346) 9553
市民部		会計管理者	
市民課	042 (346) 9520	会計課	042 (346) 9563
税務課	042 (346) 9521	教育部	
収納課	042 (346) 9526	教育総務課	042 (346) 9568
地域振興部		学務課	042 (346) 9570
市民協働・男女参画推進課	042 (346) 9809	指導課	042 (346) 9572
産業振興課	042 (346) 9533	地域学習支援課	042 (346) 9574
文化スポーツ課	042 (346) 9843	公民館	042 (341) 0861
子ども家庭部		図書館	042 (345) 1246
子育て支援課	042 (346) 9821	議会事務局	042 (346) 9566
保育課	042 (346) 9594	選挙管理委員会事務局	042 (346) 9576
健康福祉部		監査事務局	042 (346) 9577
生活支援課	042 (346) 9537		
高齢者支援課	042 (346) 9823		
障がい者支援課	042 (346) 9540		
健康推進課	042 (346) 3700		
保険年金課	042 (346) 9529		

「小平市わかりやすい予算」

令和5年度主要事業・予算概要説明書

令和5年4月発行

編集・発行 小平市企画政策部財政課
〒187-8701
東京都小平市小川町二丁目 1,333 番地
電話 (042) 346-9504
電子メール zaisei@city.kodaira.lg.jp

¥120

